

平成30年度

土浦市中学生交換交流事業（パロアルト市）実施報告書



主催：土浦市・土浦市国際交流協会

ごあいさつ

私たち平成29年度土浦市中学生交換交流事業派遣生16名は、平成30年3月17日から3月27日までの11日間、姉妹都市であるアメリカ、カリフォルニア州パロアルト市において貴重な経験をさせていただきました。

私たち16名は、日本と全く異なる文化や言葉、生活を体験することで、戸惑いや不安を感じながらも充実した日々を過ごすことが出来ました。「ホームステイ」という旅行とは違う形でアメリカに滞在することで、アメリカの暮らしの特徴や良さ、日本とは異なる部分など、旅行では体験することの出来ないたくさんの事を自らの身をもって経験しました。そのため、時には悩んだり、迷ったり、日本が恋しくなったりすることもありましたが、ホームステイ先の家族やそれぞれのバディとの交流を通して、私たち一人一人を大きく成長させてくれたのではないかと思います。

そして、今回の派遣で経験したたくさんの事は、将来、形や場面は違えども必ず私たちにとって重要なターニングポイントになるのではないかと思います。また、この経験を無駄にせず、存分に活かしていきたいです。

この報告書は、そんな私たち16名が経験したたくさんの事が詰まっている報告書になっています。

最後になりますが、土浦市中学生交換交流事業並びにこの報告書発行にお力添えいただきました関係者の皆様と私たちを身近でサポートしてくださった保護者の皆様への心よりの御礼を申し上げまして代表あいさつとさせていただきます。本当に有難うございました。

派遣生代表

土浦第四中学校 中田 笙子



目 次



派遣の部

☆パロアルト市紹介	 1
☆派遣者名簿	 2
☆研修日程	 3
☆現地研修日程	 4
☆派遣生レポート	
事前研修 ～ 帰国報告会	 5～12
ホストファミリー・ホストデイレポート	 13～28
パロアルト派遣を通して感じたこと	 29～44
☆研修日より From U. S. A	 45～56
☆引率者より	 57～59

受入れの部

☆参加者名簿	 60～61
☆受入れ日程	 62
☆パロアルト市生徒の感想	 63～64
☆パロアルト市引率者の感想	 65～66
☆受入れを通じて感じたこと(土浦市保護者より)	 67～68

付 録

☆派遣&受入れ 活動紹介写真	 69～81
----------------	-------------

派遣の部

姉妹都市 パロアルト市ってどんなところ？



パロアルト市



↑パロアルト市庁舎前にある
姉妹都市を示す看板

◆ 位 置

パロアルト市は、アメリカ合衆国カリフォルニア州北部サンフランシスコ湾岸地域のサンタクララ郡にある都市です。
(サンフランシスコの南約56 km、車で約50分の距離にあります。)

◆ 面 積

約70 km² (土浦市のおよそ2分の1)

◆ 人 口

約6万6千人

◆ 概 要

パロアルト市はシリコンバレー北端部にあり、スタンフォード大学の町と言われております。全米屈指の大学のお膝元であり教育水準のもっとも高い都市と評され、その住みやすさも相まって多くの人々を惹きつけております。大学は数多くの起業家、エンジニアを輩出し、ゆえにパロアルトは多数のハイテク企業が生まれ育っていく地となりました。いまや世界の巨人とも言えるアップルコンピュータ、グーグル、フェイスブックなどパロアルトから羽ばたいた大企業は枚挙に暇がありません。

「パロアルト」とは、スペイン語で“El Palo Alto(背の高い木)”を意味する言葉です。サンフランシスコキート川沿いのアメリカ杉にちなんで名付けられました。

◆ 交流の経緯

平成5(1993)年に旧新治村に進出したパロアルト市に本社のある企業の協力により、同市在住社員の家庭にホームステイする派遣事業を開始しました。ネイバーズアブロード(パロアルト市の国際交流団体)を中心とする多くのボランティアの協力により交換交流を継続しております。

平成21(2009)年4月、両市は姉妹都市の締結をし、土浦市にとって初めての姉妹都市が誕生しました。

平成30年3月土浦市中学生交換交流事業 パロアルト市派遣生・引率一覧

土浦市側		パロアルト市側	
氏名	学校名	氏名	学校名
大島 幸太郎	土浦第一中学校	Yamm Elnekave ヤム・エルネケイヴ	J L S 中 7年生
内山 和奏	土浦第一中学校	Erin Kim エリン・キム	ジョーダン中 8年生
田上 公平	土浦第二中学校	Thomas Rimsa トーマス・リムザ	ジョーダン中 8年生
松岡 侑美	土浦第二中学校	Johannah Seah ジョハンナ・シーア	J L S 中 7年生
阿藤 大士	土浦第三中学校	Jordan Kahn ジョーダン・カーン	ジョーダン中 7年生
菊池 桜輝	土浦第三中学校	Yash Vora ヤシュ・ヴォラ	ジョーダン中 8年生
木下 颯斗	土浦第四中学校	Ayaan Furtado-Tiwari アヤーン・ファータド・ティワリ	J L S 中 8年生
中田 笙子	土浦第四中学校	Anika Mittal アニカ・ミッタル	J L S 中 8年生
栗又 拓実	土浦第五中学校	Bram Feenstra ブラム・フィーンストラ	J L S 中 7年生
佐藤 真鈴	土浦第五中学校	Jade de Anda ジェイド・デ・アンダ	ジョーダン中 8年生
鶴町 開	土浦第六中学校	Austin Eng オースティン・イング	ジョーダン中 6年生
下村 莉央	土浦第六中学校	Laura Lengre ローラ・レングル	J L S 中 8年生
大関 翼	都和中学校	Owen Bittinger オーウェン・ビットィンガー	ジョーダン中 7年生
星 綾音	都和中学校	Kirtana Romfh キルタナ・ロムフ	ジョーダン中 8年生
渡邊 壮梧	新治中学校	Evan Seki エヴァン・セキ	ジョーダン中 8年生
吉村 優菜	新治中学校	Mahima Agrawal マヒマ・アグラワル	J L S 中 8年生

引率者一覧

氏名	所属
堀越 千鶴	土浦第六中学校教諭
菅谷 博	土浦市市民活動課

研修日程

日 程	内 容
平成30年 1月 5日(金)	保護者説明会 ・派遣全般に関する留意点について
2月 7日(水)	第1回事前研修 ・現地での交流内容について ・英会話研修
2月20日(火)	第2回事前研修 ・派遣中の役割分担について ・英会話研修
3月 9日(金)	第3回事前研修 ・課題発表 ・諸事項の確認 ・答礼パーティーリハーサル
3月17日(土)	結団式・出発
3月17日(土) ～27日(火)	現地派遣研修
3月29日(木)	帰国報告会
5月18日(金)	第1回受入準備研修会 ・パロアルト市受入全般について ・歓迎会準備
5月31日(木)	第2回受入準備研修会 ・諸事項の確認 ・歓迎会準備
6月 7日(木) ～17日(日)	パロアルト市中学生等受入

現地研修日程

No.	月日	発着地／滞在地	発着現地 時 間	スケジュール
1	3月 17日 (土)	土浦市発 成田空港着 成田空港発	11:30 13:30 17:00	結団式後、バスにて霞浦の湯から成田空港へ 成田空港到着 出国手続後、空路サンフランシスコへ(UA 838 便)
		サンフランシスコ着 パロアルト市	10:15 11:00 11:40	サンフランシスコ国際空港到着 入国手続後、パロアルト市へ パロアルト市で歓迎パーティー@JLS 中学校 パーティーでホストファミリーと対面 (ホームステイ)
2	18日 (日)	パロアルト市	終日	ホストデイ(家族とともに) (ホームステイ)
3	19日 (月)	パロアルト市	昼 夜	生徒はバディとともに学校へ 夜パロアルト市議会訪問 (ホームステイ)
4	20日 (火)	パロアルト市	昼	生徒はバディとともに学校へ (ホームステイ)
5	21日 (水)	パロアルト市		生徒はバディとともに学校へ(1・2時限目まで) その後スタンフォード大学見学 (ホームステイ)
6	22日 (木)	パロアルト発 ヨセミテ マリポサ着	朝 昼 夜	各学校(JLS中・ジョーダン中)集合後、ヨセミテへ ヨセミテ国立公園見学 (ヨセミテ泊→悪天候によりマリポサ泊に変更)
7	23日 (金)	マリポサ発 パロアルト市	昼 夕方	モンレー、カーメルを見学 ビンゴパーティー@ミッチェルパークコミュニティセンター (ホームステイ)
8	24日 (土)	パロアルト市	終日	ホストデイ(家族とともに) (ホームステイ)
9	25日 (日)	パロアルト市 サンフランシスコ市	9:00 10:00 11:30 午後	答礼パーティー会場集合 @ルーシースターンコミュニティセンター 答礼パーティー開始 パーティー終了後、サンフランシスコへ サンフランシスコ市内見学、ゴールデンゲートブリッジ等 (サンフランシスコ泊)
10	26日 (月)	サンフランシスコ市 サンフランシスコ発	朝 11:25	朝食後、サンフランシスコ国際空港へ 出国手続後、空路成田へ(UA837 便) (機内泊)
11	27日 (火)	成田空港着 成田空港発 土浦市民会館着	14:35 15:30 17:00	入国手続後、バスにて土浦市へ 土浦市民会館到着後、解散

派遣生レポート

事前研修会、結団式

担当：土浦第一中学校

○事前研修会について

- 1 回目：学校ごとに分かれて ALT の先生との英会話研修、派遣生代表の決定や報告書の分担決め
- 2 回目：学校ごとに分かれて ALT の先生との英会話研修、答弁パーティーのレクリエーション決め、練習、バディのプロフィール確認、パロアルト市について学ぶ
- 3 回目：答弁パーティーのリハーサル、調べてきた課題の発表、JTB の方と現地での行動と持ち物や空港での動作の確認



*研修会 1 日目ではまだみんな会ったばかりなので、空気が重く緊張していましたが、パロアルト派遣後には全員が気軽に話せるようになっていました。

○結団式について

- ・日付：2018年3月17日（土）
- ・主催者、来賓挨拶
- ・引率の先生、派遣生代表のあいさつ
- ・土産品の披露



*緊張感のある中行われた結団式では、たくさんの方々から励ましの言葉をいただきました。

歓迎パーティー

担当：新治学園義務教育学校

長い飛行機旅も終わり、やっとバディに会うときが来ました。
会場に着くとたくさんの人たちが日本とパロアルトの旗を持って待っていてくれました。

あいにくの雨でしたが、とても嬉しい出会いとなりました。

顔を合わせハグをし、出会いを喜びました。そして、「Welcome to Palo Alto, friends from Japan」と書かれた部屋の中に入りました。

部屋の中は飾り付けがしてあり、いろんな国のご飯がありました。

緊張する中、バディたちとご飯を食べました。



主催者の方や、以前このプログラムに参加した方、生徒代表の中田笙子さんのお話を聞きました。サンフランシスコ総領事館の方は縦笛を披露してくださいました。

私たち生徒はバディや家族とたくさん話をし、写真を撮ったり、日本語を教えたりしていました。

バディ達やホストファミリーは、初めて会ったばかりの私たちにも、フレンドリーに話しかけて来てくれました。それにより、私たちの不安も和らぎ、そこから始まるホームステイに対しての期待も大きくなりました。研修の始まりとしてとても有意義で、とっても良いパーティーでした。

JLS 中学校

担当：土浦第四中学校

JLS 中学校では、英語、数学、理科、社会の基本科目に加え、日本語、スペイン語、フランス語、体育、技術、音楽、美術などの選択科目がとても充実していました。



日本語クラスでは、ひらがなやカタカナの勉強をしたり iPad を使った日本についてのミニゲームをしたりしました。

日本の伝統的な遊びである“かるた”などをして交流を深めることが出来ました。

日本語クラスの生徒は、知っている日本語で一生懸命に話しかけてくれました。

休み時間は、日本と同じように、広い校庭を利用して、バスケットボールやテニスをして楽しんでいました。

放課後は、日本と違って部活は無く、学校に残って遊ぶなど、それぞれ自由に過ごしていました。



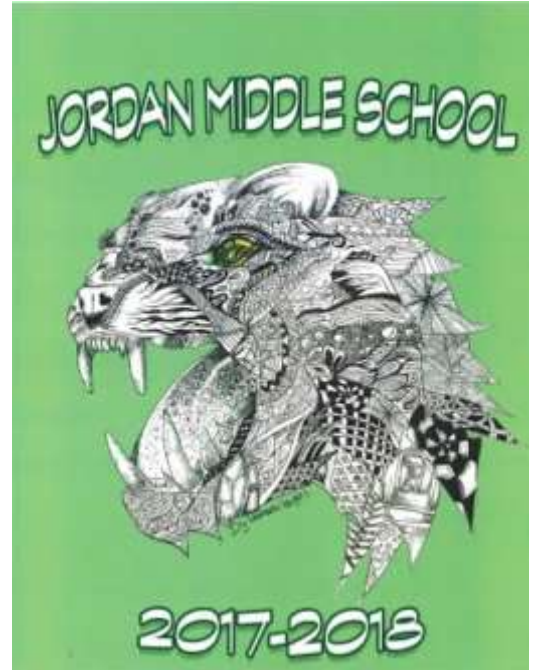
JORDAN MIDDLE SCHOOL

担当：都和中学校

通学方法は、スクールバス、自転車、徒歩など人により違います。

授業は日本と違い、毎時間教科ごとに生徒が教室を移動するため、固定のクラスメートがいません。時間内に教室を移動しなければいけないので走って移動するときもあります。お昼は給食がなく、購買で買うか弁当を持っていく感じでした。

ジョーダン中の人たちは、みんな優しく元気で、全く知らなくても手を振ってくれたり、「Hello」と言ってくれる人がたくさんいました。



授業中は先生が質問しなくても、自分から発言したり友達と話し合ったりと、真面目に取り組んでいました。

お昼休みは日本と同じで、友達とお喋りしたり遊んだり、人により違いますが、みんな楽しく過ごしていました。

全体的に見ると、すごく広い敷地、整った設備の中で、みんなが自由に過ごしているというアメリカらしい感じの印象でした。



《校舎の様子》

スタンフォード大学

担当：土浦第六中学校

スタンフォード大学の設立は1891年。世界でもとても有名な私立大学で、スポーツ面でも文化面でもとても優秀な大学です。
シリコンバレーの中心に位置していて、シリコンバレーの半導体企業で働く人は、スタンフォード大学の出身者が多いそうです。

キャンパスの様子 ▶

大学の中はとても広く、教会、フードコート、ショッピングセンター、レストラン、スイミングプールなどがあり、大学の中が一つの街になっている様でした。

陸上競技場、ソフトボール場、サッカー場2つ、アメリカンフットボールのフィールドが2つ、野球スタジアムが1つなど絶好の運動施設がそろっていました。



◀ アメリカンフットボール場 (スタンフォードスタジアム)

スタンフォード大学はスポーツの名門でもあり、中でもアメリカンフットボールは世界のトップクラス！
このスタジアムでは過去にスーパーボウルやワールドカップが開催されました。
収容人数は約5万人です。

ヨセミテ国立公園

担当：土浦第五中学校

＜ヨセミテ国立公園とは＞

ヨセミテ国立公園は、アメリカ合衆国のカリフォルニア州にあります。

1984年に、ユネスコの世界遺産に登録されました。公園内には、日本ではなかなか見られない動物や、ヨセミテ国立公園に生息する特別な動物もいるそうです。公園の面積は、3081平方キロメートルです。公園全体の1%にも満たさないヨセミテ溪谷（約18平方キロメートル）に年間350万人の観光客が訪れます。

＜研修内容＞

私たちは、3月22日と23日にヨセミテ国立公園を訪れました。

＜1日目＞

私たちは、バスに乗りヨセミテ国立公園に向かいました。

しかし、あいにくの天気のため急遽ヨセミテ国立公園を出ることになってしまいました。さらに、予定していたホテルへの道も通行止めになってしまい、急遽ホテルも変え、予定はしていませんでしたが、変えたホテル付近のピザ屋で夜ご飯を食べました。バスでたくさんの時間をみんなと過ごしたので、より仲が深まったと思います。

＜2日目＞

私たちは、ヨセミテ国立公園に行けなくなってしまったので、急遽サンフランシスコに行ったり、インテルという会社について社内を見学したり、お土産を買ったりしました。とてもおいしいと有名なクラムチャウダーも食べたりしました。



Farewell Party 2018

担当：土浦第三中学校

今日でホストファミリーともお別れ。
感謝の気持ちを答礼パーティーで伝えました。



最初に行った記念植樹の様子です。
答礼パーティーの会場の庭にさくらの
木を植えました。

ミニゲームでは紙飛行機を一緒に
作りました。英語で説明に苦戦した
り、紙飛行機がうまく飛ばなかった
りしましたが、楽しく思い出に残る
ひとときとなりました！



英語がちゃんと話せるだ
ろうか…など不安な点が
たくさんありましたが、ホ
ストファミリーが温かく
迎えてくれたおかげで充
実した10日間を過ごす
ことができました。
パロアルトの方々には感
謝の言葉しかありません。
本当にお世話になりました
！

帰国報告会

担当：土浦第二中学校

☆派遣生紹介

司会の方から派遣生の紹介がありました。

☆派遣生代表あいさつ

派遣生代表の中田笙子さんからあいさつがありました。

パロアルトでの出会いや発見、学んだことについて、出席者の方々に伝えることができました。

☆引率者代表あいさつ

引率者の堀越先生から今回の派遣について話がありました。

☆土産品の贈呈

出席者の方々にパロアルトからの土産品を贈呈しました。

☆派遣生の帰国報告

派遣生それぞれが今回の派遣で身についたことや体験したこと、これからのことについて真剣な態度で発表することができました。



ホストファミリーの紹介



人数：五人家族(男の子三人、父親、母親)
言語：第一言語はヘブライ語で、英語も話せる。
ユダヤ系。
父親・母親ともに IT に関する仕事をしている。
父は料理が上手、どちらもとても親切。
全員運動好きで、土日はよくハイキングに行くらしい。

ホストデイの様子

1日目



ホストデイ1日目は **SANTA CRUZ** という海に面している大きな遊園地に行きました。

いろいろなアトラクションに乗ったり、アメリカでしか食べられないものを食べたり、(写真参照)おみやげを買ったりしました。

日本の遊園地とは違う雰囲気でした。

2日目



午後にはホストファミリー全員で **Stanford dish** というところ（写真参照）に**ハイキング**に行きました。リスがいたり、スタンフォード大学を眺めることができました。カラッとした青空でとても清々しかったです。

Stanford dish 内が**すべて大学の敷地**だということを知って驚きました。ハイキングの最後に **Stanford dish** の名前の由来にもなった**電波塔**を見ました。

レーダーや電波に関するフィールドワークが今でも行われている電波塔は大きくてとても迫力がありました。往復約5kmで坂が多く、日陰もほとんどなかったので疲れましたが、歩いていてとても楽しかったです。

このほかにもアメリカのお土産を買うために近所のスーパーに行ったりしました。
毎日が充実していてとても楽しかったです。

MY HOST FAMILY



Dad: 優しくて格好いいお父さん。

日本語で話しかけてくれた。

Mom: 料理上手で、一緒にショッピングに行った。

Brother: たくさん声をかけてくれた、

バスケットが大好きなお兄ちゃん。

Buddy: 明るくて日本語が上手、とても優しい。

HOST DAY



初日は、ロンバートストリートやフィッシャーマンズワープなど、サンフランシスコ市内を観光に行きました。とてもかわいらしい街並みでした。

2 日目は、ボードウォークに連れて行ってもらいました。Buddy とたくさんのジェットコースターに乗って怖かったけど、この日で喋れるようになって楽しい時間を過ごすことができました。



今回のホームステイで、Host Family には本当の家族のように接してもらい、たくさん経験をさせてもらいました。感謝、感謝です。本当に有難うございました。

~MY HOST FAMILY~



Buddy : Thomas

背が高くてとても面白い
僕のバディ

Father: Joe

とても優しくていつも僕の
ことを気にかけてくれて
いるお父さん

Mother : Lisa

仕事でとても忙しい
困った時は助けてくれる
お母さん

Sister : Mikayla

スポーツが得意で
バディととても仲が良い
お姉ちゃん

~HOST DAY~

1日目 - バディの友達の誕生日パーティーに行った。その後、サンタクルーズでバディの友達とペイントボールをして遊んだ。ペイントボールがどういうものか最初はわからなかったがみんなと協力して戦った。楽しかったが帰りは疲れて寝てしまった…。



2日目 - 「スタンフォード大学」VS「USC」の野球の試合を見に行った。日本の野球の試合とは全然違った。休憩時間ごとにイベントがあって見に来ている人もとても楽しかった。結果は、10対1でスタンフォード大学が勝った。また、スタンフォード大学のアメフトの試合会場を見学した。

*The time in the USA was a lot of fun!
Thank you for precious time*

My host family

土浦第二中学校 松岡 侑美



Buddy : Johannah

フルーツが上手で頭が良い！！
努力家で元気な明るいバディ
トロが大好き！

sister : Michaela

絵が上手でバディと同様頭が良い！
飾らない笑顔が素適なかわいい
お姉さん
千と千尋の神隠しが大好き！



father : Paul

分からないにもかかわらず、
一生懸命に 日本語を話してくれた
お父さん
自分の子供のように接してくれた

mother : Marian

アメリカについてたくさん教えてくれた
笑顔の絶えないお母さん 心理学者！
大きな心で接してくれた

すごく行動的な家族で、暇な日が一日もないくらい必ずどこかに連れて行ってくれました。

バスケットに連れて行ってくれたり、ダウンタウンに連れて行ってくれたり、大きなショッピングセンターにも連れて行ってもらいました。

また、すごく大きなステーキや本場のハンバーガー、アジアンフードなど、どれもこれも、一つ一つがすごく大きな思い出です。

私専用の部屋も用意してくれて、自分にはもったいないほど豪華なお部屋でした。

家族みんなが仲良くて、ほんわかした気持ちでいられました。

最高でした。一番のホストファミリーです。本当にありがとうございました。

My host family



Buddy :Jordan Khan

サッカーが得意なバディ。

僕より1歳下ですが、背が高いです。

Brother:AdamKhan

Jordan の弟で、元気いっぱいです。

Host Father:Mo Khan

いつも面白い、弁護士をしてお父さんです。

Host Mother:Bernadette Khan

とても優しくてしっかりしたお母さんです。



Santa Cruz

サンタクルーズビーチにに行ってきました。

まずはお昼ご飯をスプラッシュというお店で食べました。お店の中はお洒落な感じで、店員さんが「Welcome to California!」と言ってくれました。

アメリカということで覚悟はしていましたが、やはりご飯の量は半端ではありません。お腹いっぱいです。



Sushi shop

最終日は寿司屋に連れて行ってくれました。高級なお寿司屋さんの印象でした。

味もよくて、どれも日本に負けない味で、アメリカなのに日本を満喫しました。



Skate

そのあとは、他のホストファミリーや派遣生も含めてスケートに行きました。3回転びましたが他のバディとも交流できて、とても楽しかったです。

もう皆ともお別れだと思うと寂しいですが、ホストファミリーのおかげで、最高のホームステイになりました。今まで、ありがとうございました！！

My host family

土浦第三中学校 菊池 桜輝



Dad (Nimish)

いろいろな話をしてくれる優しいお父さん

Mom (Seema)

どんな時でも優しく接してくれるお母さん

Sister (Ria)

笑顔が素敵な頼もしいお姉さん

Buddy (Yash)

ゲームが好きで、明るく元気な僕のバディ

☆Host Day☆

★3/17

初日は *Seema* の友達と一緒にボートに乗りながら、夕食を食べました。家が川に接していてそこからボートに乗るなんて、僕には想像もできませんでした。

ボートの運転もやらせてもらいました。

そこで食べるご飯はとてもおいしかったです！

★3/24

この日は、*Seema* が働いているアップルの本社に連れて行ってもらいました！

社内はすごく大きくて、殆どガラス張りでした。

アップルのショップにも行って、Tシャツやエコバッグなどを買いました！とてもいい思い出になりました。



Thank you for everything!!



My host family

Ayaan サッカー大好きな僕のバディ！
Ezra 日本食にとっても興味のある弟！
Caren とても面白いお母さん！
Shashank とっても優しいお父さん！



Host day

初日は、Apple や google や Microsoft に行きました。
Apple や google は建物がとても大きくさすがアメリカだなーと思いました。
残念ながら中に入れませんでした。
Microsoft では VR (バーチャル・リアリティ) を体験できました。
内容は銃や剣などで、次々とでてくるモンスターを倒していくというものでとてもリアルでした。VR を体験するのが初めてでとても楽しかったです。

二日目は facebook に行きました。
中は、ショッピングモールやゲームセンターやお菓子屋さんなど、一つの都市になっていました。
なぜそうなっているかというと、facebook の中だけで生活ができるようになっていそうです。
中にあったアイス屋さんに入ってアイスを食べました。バニラといっても、生乳系とヨーグルト系の二種類があり、生乳系の甘みとヨーグルト系の酸味が味わえておいしかったです。



最終日は、ミステリースポットというところに行きました。
そこではなぜか右が下に傾いているのにボールは左に転がるというとても不思議な場所でした！
ほかにも、サンタクルーズビーチというきれいなビーチやチャミスピークトレイルという自然あふれる山などとても景色のいい場所へホストファミリーが連れてってくれました。



My Host Family



Aika 歌うこととショッピングが大好きなバディ
Shraddha 料理が上手でいつも美味しいご飯を作ってくれたお母さん

Samir 忙しいのに一生懸命私の英語に耳を傾けてくれた優しいお父さん

Host Day

3月18日

パロアルト市内のショッピングセンターに行きました。身体の小さい私のために、一生懸命サイズの合う服を探してくれました。また、お昼には、ベジタリアンなのにも拘らず私を気遣いバーガーキングに連れて行ってくれました。夜は、クッキングナイトで作ったうどんを「とても美味しい」と言って食べてくれました。



ホストデイだけでなく普段からインドカレーを作ってくれたり一緒に映画を見たり、音楽を聴いたりなど、私が楽しめるようにいろいろな工夫をしてくれました。そのおかげで私の洋楽や映画への興味は更に深まりました。

そんなホストファミリーに心から感謝しています。

3月24日

この日は、Google や Apple、Facebook の本社に連れて行ってくれました。

私が行きたいと言っていたスターバックスにも行きました。

夜には、ヒルトンホテルで行われたパーティーにも連れて行ってくれました。



My Host Family

土浦第五中学校 栗又 拓実



Father たくさん話しかけてくれ
 いつも明るいお父さん
Mother おいしい料理を作って
 くれた優しいお母さん
Buddy いつも明るくて元気で
 いたずらが好きな Buddy
Pet とってもかわいい雄の犬
 小さくて人懐っこい猫

Host Day



最初のホストデイは、きれいなビーチへ行きました。一面砂浜のビーチは静かで波の音が聞こえてきて、とても新鮮な気持ちになりました。最後の日には、遊園地にもつれてってもらい、アメリカのスケールの大きさを知りました。

そして僕の誕生日には、とても盛大に祝ってくれ、誕生日プレゼントまでもくださいました。
最高の誕生日になりました。



My Host Family

土浦第五中学校 佐藤 真鈴



Father : たくさん話しかけてくれる
明るいお父さん

Mother : いつも笑顔で色々なことを
教えてくれたお母さん

Grandmother : 分かりやすいよう
英語を話してくれる
おばあちゃん

Buddy : 日本が大好きで、おもしろくて
とても優しい私のバディ

Host Day

～1日目～

Santa Cruz Beach という遊園地へ行きました。その遊園地は海の隣にあり、とてもきれいな景色を見ることができました。たくさんの種類のアトラクションや、食べ物、お土産屋さんなどがあり、とても楽しかったです。アトラクションで遊んだ後は、バディと一緒に海で軽く遊びました。靴が少しぬれてしまいましたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。



～4日目～



Google の本社に行きました。バディと一緒にたくさん写真を撮りました。敷地が広くてとても驚きました。

～最終日～

夜にバディと一緒にスケートに行きました。他にも友達がたくさん来ていて、とても楽しかったです。あまり滑れなかったけれど、みんなに支えてもらって滑れたのでよかったです。



My Host Family



Father: Aran

ホームステイ期間中ずっと僕のことを考えてくれて、とっても親切なお父さん。料理が上手！ジョークが楽しくいつも場の空気を明るくしてくれる。

Mother: Naoko

僕が困っていることなどにも対応してくれるとっても優しいお母さん。

いつも気にかけてくれて日本での生活のことにも興味を持っていた。

スタンフォード大学出身のお母さん！



Buddy: Austin

年は2つも下だけど、年の差を感じさせないほど気を遣ってくれた。たくさん話して、たくさん笑った。日本の物に興味津々で日本のことをよく知っている！

Host Day

☆1日目☆

1日目は、サンタクルーズにある遊園地に連れて行ってもらった。

ほかの派遣生もいてバディ以外のアメリカの中学生と仲良くなるきっかけになった。

遊具の種類が多かった。

僕の大好きなパックマンがあった！



☆2日目☆

2日目は、僕が一番楽しみにしていた本場の野球を見に行った。

名門スタンフォード VS 強豪 U.S.C. アメリカのパンチ力はすごい！球速も早かった！

スタンフォードのピッチャーはメジャー入りがほぼ決まっている選手。

そんなピッチャーを見ることができて、ラッキー！！



My host family



Mother 明るくて面白いきれいな
お母さん

Buddy 優しくて友達いっぱいの
かわいいバディ

Brother 大学生

host day

バディの友達と一緒にミュージカル
「Love Never Dies」を見に行きま
した！

セリフがよくわからなかったけれど、
迫力のある演出と歌声に感動しました！
オーケストラ演奏もすごかった…！
そのあとはみんなでアイス屋さんへ！
おいしかった～！



夜はスケートに行きました！
バディが上手で、私も支えてもら
いながら滑りました。
楽しかった～！

他にもいろいろなところへ連れてってもらいました！
思い出いっぱいの最高の日々でした！
Thank you!!

My Host Family



Buddy, Owen : 優しくてゲームも運動も好き
趣味が共通の気があうバディ

Dad, Owen : ムードメーカーでゲームが好き
しっかり者のお父さん

Mom, Jennifer : いつも笑顔で接してくれる
あかるいおかあさん

Sister, Harriet : 毎日楽しそうに過ごしている
面白いバディの妹

Pet, Henry : 活発で目の綺麗な男の子のネコ

★Santa Cruz Beach★

絶叫系のアトラクションが多く、ジェットコースターは迫力がありました。
遊園地内に等身大の人形がいて、見た目が面白かったです。

ゲームセンターもあって、そこでバディとエアホッケーなど色んなゲームを
楽しみました。



★クッキングナイト★

お好み焼きを作りました。

ひっくり返すのをお父さんが挑戦して一発成功していました。

家族みんながお好み焼きが好きでした。

次の日、お父さんが残ったお好み焼きの粉を使ってお弁当にして持って行きました。気に入ってくれたようで嬉しかったです。

他にも、書ききれないほどたくさんの素晴らしい体験をさせて頂きました。

Thank you so much for everything!!

My Host Family

都和中学校 星 綾音

Buddy : Kirtana

バレーが上手で明るくて優しいバディ

Brother : Aditya

動くことが好きで、クラリネットも出来る完璧な弟！

Brother : Ravi

小さいけど、人懐っこい赤ちゃん！！

Father : Padraic

料理が上手で、いつもどこかに連れていってくれるお父さん

Mother : Anitra

いつも明るくて、すごく日本語を覚えてくれようとしていたお母さん



Host Day

初日は、バレーボールの試合へ連れて行ってくれました。
試合の雰囲気が日本と違い、楽しそうでした。
試合の途中に、お母さんと買い物へ行きました。

クッキングナイトでは、うどんを作ったら、
「おいしい！」と言ってくれました。

Thank you so much
for everything.



My Host Family

新治学園義務教育学校 渡邊 壮梧



- Buddy: Evan 常に明るく元気で優しい。
友達が多い。
- Mother 料理上手。
クールだけど、とても優しい。
- Father 一生懸命に日本語を覚えて、
使おうとしてくれる。
写真を撮るのがとても上手。

Host Day

着いた次の日のホストデイでは、Santa Cruz Beach という遊園地兼ビーチ兼ショッピングモールのような所へ連れて行ってもらいました。そこで、午前中はすご〜〜〜く怖い絶叫系アトラクションに乗って、昼はビーチでサンドイッチなどを食べました。そのあと、もう1度遊園地で遊んで、BBQ で食事をして帰りました。

ホームステイ最終日は、スタンフォード大学の野球の試合を見に行きました。その試合はスタンフォードの圧勝でしたが、とても見ごたえのある、アメリカらしい試合でした。あと、試合が終わった後、球場の外に出て、帰ろうとしていた時、偶然アメフトのスタジアムの係員さんが出てきて、一緒にいた別のホストの方が、説明してくれ、とても有名な世界的スポーツ大会などでもつかわれている、スタジアムの中を特別に見せてもらうことができました。

夜はスケートリンクに連れて行ってもらいました。初めてのスケートで、なかなか出来なかったけど、慣れてしまえばある程度のスピードで滑れました。



MY HOST FAMILY

新治学園義務教育学校 吉村 優菜

Mahima

明るくテニスが大好きな私のバディ

Mother

優しく、料理上手でダンスが得意なお母さん

Father

日本についてたくさん質問してくれる面白いお父さん



HOST DAY

～ショッピング～

大きなショッピングモールに連れてってくれました。
そして、たくさんの洋服を買いました。また、ダイソーがあることに驚きました。
その後、近くのスーパーに行きました。
ケーキ屋さんではないのにたくさんのケーキが売られていることにびっくり！

～ビーチへ～

私がずっと行きたかったビーチに連れていってくれました。残念ながらバディは行くことができませんでしたが、とても楽しかったです。アメリカのビーチはとても大きかったです。映画で見るような美しい海で、感動しました。



たくさんの貴重な経験させてくれた、ホストファミリー。
とてもやさしくて、毎日、楽しいことばかりでした！ありがとう！！！！

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第一中学校 大島 幸太郎

私は六年生の時に父の仕事の都合でアメリカに行き、一年間滞在しましたが、今回のパロアルト派遣で前回アメリカに来た時と違うことをたくさん学べたと思います。

アメリカの中学校は教科書で見た通り廊下には自分用のロッカーがありまして、自分の教室がなく教科ごとに移動するという点も教科書で学んだ通りでした。何より驚いたのは、小学校であったランチの時間が中学校にもあり、日本でいう二時間目の後あたりにお菓子や軽食などをとっていたことです。日本の中学校ではお菓子のごみがあるだけで大問題になるので、少し羨ましかったです。選択科目があつたり技術室に 3D プリンターがあつたりと日本の中学校とは違うことだらけで進んでいる部分もたくさんありました。

ホームステイも初めての体験で、とてもためになりました。バディの子も私がいらない英単語を何度も教えてくれたり、覚えてたの日本語で会話しようとしてくれたりと、とても親切に接してくれました。ホストファミリーも全員が穏やかな性格でたくさん話しかけてもらい、日本にいた時のような不安はなくなりました。ホストデイの日にはハイキングや遊園地などいろいろな場所にも連れて行ってくれました。英語もまだまだで見知らぬ私にここまで優しく接していただいたホストファミリーの皆さんに感謝です。

ヨセミテ観光では、嵐が来て観光ができなくなり残念でしたが、百年に一度の大嵐を体験できたのはある意味貴重な体験だったと思います。そのあとのサンフランシスコ観光では、ゴールデンゲートブリッジなど有名な観光スポットに行けたのでよかったです。

私が今回のパロアルト派遣に行こうと思った理由の一つに自分の英語力を確かめたいという点がありました。六年生のときに滞在していた時は英語に触れること自体が初めてだったので、学校でも内気になってしまったり、うまくコミュニケーションがとれなかったりと、とても悔しい思いをしました。なので、前回のアメリカ滞在から二年が過ぎ、たくさん勉強して備わった自分の英語力を今回の派遣を通して試したいと思いました。勉強の成果もあり、前回よりも積極的にコミュニケーションをとれ、翻訳機を使わないで会話することもできました。

今回はホームステイや中学校訪問など、普通の人は体験できないような様々な貴重な体験ができましたし、なにより自分の話す英語の自信にもなりました。六月には今度はアメリカからホームステイをしに家にやってきます。その時のためにもこれからも英語の勉強を続け、もっと上手にコミュニケーションをとれるようにして、バディの子に土浦市や日本の文化を知ってもらうためにいろいろなところに連れて行ってあげたいです。そして今回パロアルト派遣を企画してくださった市役所の方々や JTB の方、大金を払って私をアメリカに送り出してくれた両親、たくさんの経験をさせてくださったホストファミリーに心から感謝します。

今回の11日間に及ぶ貴重な体験をこれからの生活や学校の授業、将来に生かせるようにし、またいつかアメリカに戻れるようにしたいです。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第一中学校 内山 和奏

パロアルトで過ごした10日間は、言葉が通じず大変なこともありました。自分にとってとても貴重な10日間となりました。パロアルトに行く前は、「自分の英語が通じるのか、コミュニケーションはとれるのか。」不安でいっぱいでした。しかし、初日から Erin は日本語で話しかけてくれました。お父さんも英語で「あなたは今日から家族の一員です。」と言ってくれた時、不安だった気持ちが一気に消え去りとても安心しました。ハンバーガーを食べに連れて行ってもらったとき、お父さんに教えてもらい自分で注文しました。店員さんに「OK」と言ってもらえたときはとても嬉しかったです。

日本とアメリカの違いで一番驚いたのは学校です。Erin はチェロをやっているのでオーケストラの授業に一緒に行きましたが、同じ歳の子達だとは思えないほど上手な演奏でした。制服がなく、ピアスやマニキュアをしているし、休み時間にはお菓子を食べているなど、とても自由な学校生活でしたが、時間には全て自己責任であることに驚きました。日本では先生に注意されながら時間通りに行動する場面が多いです。実際私も学校生活を送るなかでそのような場面に多く遭遇してきました。私は今回の派遣でアメリカの「自由」に触れて、沢山のことを考えさせられました。もし日本の学校でアメリカのように全てを自己責任にする体制をとったら、私たちは怠けた人間になってしまうのでしょうか。日本人は主体性が足りないとよく評価されますが、私はこうした環境が日本人をそうさせているのではないかと思いました。どちらもメリット・デメリットはあるのだろうけれど、私はこうしたアメリカの雰囲気強く惹かれました。

もう1つ、学校に行って感じたのはそれぞれの個性です。さまざまな人種の人がいる中でもみんな仲が良く、思い思いに自分の考えを話している姿は印象的でした。日本にいただけでは感じる事ができなかったあのアメリカ人の優しさは素晴らしいと思います。

アメリカ、パロアルトはもとより海外に行くこと自体初めてでした。派遣の日が近づくにつれ、いろいろなことを想像し、楽しみに思ったり、不安になったりしました。パロアルト派遣が始まり、自分自身の実体験として「見聞きし、体感すること」で不安が取り除かれ、新たな発見、今までにはない考えに触れることができ、すべてが刺激的でした。パロアルト派遣は始まる前の過程を含め貴重な経験と考えます。このような機会に感謝するとともに、今後は今回の経験を生かせるよう頑張っていきたいと思います。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第二中学校 田上 公平

僕は、今回のパロアルト派遣事業を通してたくさんのことを学び、日本との違いを感じることができました。

特に、学校では日本との違いをたくさん見つけることができました。アメリカの建物は一階建てが多く、ロッカーは廊下にあります。日本では先生が教室を移動していますが、アメリカでは授業ごとに生徒が教室間を移動していました。どの授業でもパソコンを使っていて生徒は常にノートパソコンを持ち歩いていました。ホームルームがなく、いつも同じクラスにいないので学校全体が友達のような感じでした。アメリカなので校舎・校庭はもちろん、テニスコート、バスケットコート、プールやジムなどの設備はとても大きかったです。学校内にカフェテリアもあり、「日本にもあったらなあ」というような羨ましいことがたくさんありました。生徒はみんなフレンドリーで面白い人ばかりで会うたびにたくさんしゃべりかけてくれました。

ホストファミリーは、気軽に話しかけてくれてとても親切でした。ホストファミリーのことで一番驚いたことはバディの家にお手伝いさんがいたことです。洗濯や学校の送り迎えなどお手伝いさんともたくさん話しました。バディはアメフトをやっている、お姉ちゃんはサッカーをやっている、とてもスポーツが好きな家族でした。お父さんは会社を経営していて、お母さんはヒューレットパカード社で働いているそうです。お母さんがとても忙しくて僕のホームステイ中は2日間しか家にいませんでした。お母さんがいないときはお父さんが家事をしていました。家にいるときは、みんなでテレビを見たり、バディのトーマスとお姉ちゃんと一緒にゲームをしたりしました。ホストデイではない日にも、スケートに連れて行ってくれたり、僕が行きたいところがあれば、そこにも連れて行ってくれたりしました。ホストファミリーのみんなは暇さえあれば話しかけてくれてとても楽しかったです。

ホストデイではスタンフォードショッピングセンターに連れて行ってもらいました。日本の「イオン」のような店と違い、とても開放感のあるショッピングセンターでした。ペイントボールに連れて行ってもらったときは、日本人の人に会うこともできました。スケートは生まれて初めてやりましたが、コツがつかめてくるとうまく滑ることができました。

クッキングナイトではバディと一緒にうどんを作りました。うどんの材料を買いに行くために日本のスーパーに行ったら品ぞろえがとてもよく、ここでも驚かされました。家族のみんなも「おいしい」と言って食べてくれたのでとてもうれしかったです。

渡米前は不安でいっぱいでしたがパロアルトに行ってみると不安を忘れるほどの楽しい日々ばかりでした。今回の経験を家族や学校の人に伝えて自分の英語能力の向上とパロアルトとの発展に生かしていきます。最後に、今回の事業を支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第二中学校 松岡 侑美

私がアメリカに興味を持ったのは、自分が6年生の頃でした。

テレビや雑誌を見て、アメリカのストリートや街並みを好きになったことがきっかけで、アメリカに興味を持ちました。自分がアメリカに行けることになった時、たくさん学んでこようという思いと、楽しい気持ちでいっぱいでした。しかし、成田空港に着き、飛行機に乗り、アメリカに着いた時には、「ここからはもう日本語が通用しない。英語の生活をしなければならない。」という思いから、とても不安な気持ちになりました。

バディに初めて会った時には、案の定英語が聞き取れず、パニックになりました。しかし、バディはジェスチャーやゆっくりな単語で一生懸命伝えようと努力してくれました。また、日本語勉強の経験のない両親が、緊張して真顔だった私に、少しでも気を和ませようと知っている限りの日本語を話してくれてとても嬉しかったです。

初日からアイススケートをしたり、家族みんなでショッピングをしたりとても行動的な家族で、暇な日が全くないくらい、必ず毎日どこかに連れて行ってくれました。最初の不安はどこに行ったのかというほど毎日が楽しく、初日から現地の生活に慣れることができました。そして何よりもホストファミリーの優しさをすごく感じました。

また、私が一番に感じたことは、アメリカの人たちはとてもフレンドリーで、初対面でもテンションが高いということです。私はバスケットが好きで、現地でバスケットをさせてもらいましたが、同年代の男の子しかいない体育館の隅のゴールでシュートを打っていると、「今からゲームをするから一緒にやろう!」と声をかけてくれました。私がボールカットをしたりシュートを入れると、「Yeah!」とハイタッチをしてくれたり、「Umi〜〜!!!」と名前を呼んでくれたり、たくさん盛り上げてくれて、たくさん楽しませてくれました。本当に、アメリカの人たちは温かくて優しい人たちだなと嬉しい気持ちでいっぱいになりました。また、言葉を発することができなくても、笑顔や「Yeah!」ぐらいいでも十分に気持ちが通じることもあるということを学びました。

一日一日の中身が濃すぎるほど濃くて、本当に忘れられない一生残る思い出になりました。そして、自分がアメリカに行ったことで、自分の人生に大きな影響を受けることができました。この経験をこのままにせず、何かの場面で活かせるように、もっともっと英語を勉強して、自分の将来に繋げていきたいと思います。

最後に、このような貴重な経験をさせていただいたことに大変感謝しています。本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第三中学校 阿藤 大士

アメリカに行って最初に驚いたのは、日本との規模の違いです。道路は12車線が主流で、乗り物といい、食べ物といい、何もかもが大きく見えました。バディも一歳年下なのに、僕よりも圧倒的に背が大きかったです。けれど、アメリカで大きかったのは人や物だけではありません。人の心も大きくて、皆、細かいことは気にせずに、気さくに声をかけてくれることが多かったのです。その、心の広さがアメリカと日本の違いなのだと思います。

アメリカだと、日本人は礼儀正しくて気が利く、という印象が強いようです。けれども、日本人は周りを気にしすぎて遠慮するような態度をとることが多くなってしまいがちです。実際に僕も遠慮気味な性格です。しかし、いざアメリカへ行ってみると、そこの方々は皆、積極的でとても馴染みやすい人ばかりでした。その一方で、アメリカの人々の雰囲気についていくのには苦労しました。周りを気にすることができるのは、日本人の長所ですが、短所でもあります。このことに気づけたのは、実際に他の国に行って、その国の人々や文化と触れ合うことができたからです。

僕は今回の交換交流事業で他の地域の人と触れ合うことの大切さを知りました。国の違いについて他にも気づいたことがあります。それは、普及しているものの違いです。例えば、最近の日本のトイレは電気を使って便座を温めたり、ウォッシュレットがあったりします。しかし、僕のいた地域では、ごく普通の何もついていないトイレが一般的でした。正直、約十日間ウォッシュレットなしで過ごすのは違和感があってきつかったです。また、アメリカではシャワーを浴びるときには浴槽をはらずにシャワーだけで済ませるのが主流でした。ですので、日本に帰ってきて湯舟に入ったときは、なんだか感動しました。さらに、シャワーの使い方にも違いがあり、ホテルでシャワーを使うときはかなり悩まされました。調べてみると、僕以外にも日本人は皆一度、アメリカに来た時に、シャワーの使い方悩まされているそうです。

このように、例を挙げていくと日が暮れてしまうくらい、違いが多いです。日本との違いによって悩むこともありました。今ではいい思い出です。

僕は今回の交換交流事業で、本当に様々な経験ができました。アメリカと一言でいっても、色々なイメージがあり、なかなかまとまりません。それぐらい、今回の体験はとても内容の濃いものでした。また、自分の今の英語がどれだけ現地で伝わるのかを試すこともできました。おかげで、自分の英語に自信を持ち、さらに英語を高めようと思えるいい機会になりました。

アメリカはとても素晴らしいところでした。同時に、僕は日本の良さも分かってきました。このように、自分の国を見つめなおすという意味でも、他国の文化に触れることは大切だと実感しました。僕は今回の経験を生活に活かしていこうと思います。

最後に、このような素晴らしい事業に参加させてくださった土浦市と市役所の皆様、いつも僕達を支え、応援してくださっている先生方や僕の家族、本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第三中学校 菊池 桜輝

僕は、今回の派遣でいろいろなことを学び経験してきましたが、最初はとても不安でした。現地に行って英語が話せなくなるかもしれない…、お金の管理ができなくなるかもしれない…、など考えれば考えるほど、様々な不安が出てきてとても心配でした。しかし、実際にアメリカに行ってみると、予想以上にそこでの生活は楽しくて、面白くて、そのような不安はまるで最初から無かったように吹き飛んでしまいました。アメリカ人は、とても優しくフレンドリーで話しやすく、僕も英語で徐々に話せるようになっていました。お陰で、あっという間に現地の雰囲気になれることができました。

僕のホストファミリーはとても優しくて、いろいろな点で気を遣ってくれました。会うまで僕はとても緊張していたのですが、初めて会った時、お互いの名前を確認し合いながら、笑顔でコミュニケーションを取ることができました。また、初めてスカッシュというスポーツと一緒にやりました。テニスと少し似ているスポーツなのですが、とてもおもしろくて、スポーツがあまり得意ではない僕でも楽しむことができました。

アメリカの学校は、日本とは比べ物にならないくらい広く、大規模でした。ジョーダン中学校の場合だと、生徒の数は1, 000人を超えていてびっくりしました。さらに、学校の仕組みも違っていました。日本の中学校の場合、先生たちがそれぞれのクラスに移動して授業をしますが、アメリカの中学校は、生徒たちがそれぞれの教科の先生のクラスに移動し、授業を受けるというかたちでした。また、お昼の前におやつの時間がありました。日本にもそういうシステムがあればいいなと思いました。アメリカの学校では、いろいろなことに驚かされ、とても興味深かったです。

アメリカのもう1つの魅力は、広大な土地です。地理でも習いましたが、現地でしか味わえないようなものを感じることができました。サンフランシスコ市での見学の移動の際に、見た景色はどれも素晴らしかったです。

バディと会う最後の日は、ホストファミリーとの別れが非常につらく、「ここにもっともっと長くいたい！まだ帰りたくない！！」と思うと、自然に涙があふれてしまいました。

今回のような、交換交流という貴重な経験ができたことをとても光栄に思います。この経験を生かして、自分で作り上げた道を歩んでいけるようにしていきたいです。そして、これからも努力を惜しまず、いつか自分でアメリカへ行けるように、頑張っていこうと思います。

今回の交換交流をサポートしてくれたすべての方へ、沢山の感謝の気持ちを込めて…本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第四中学校 木下 颯斗

僕はパロアルト派遣を通じて日本とアメリカの生活や学校の違いを感じることができました。

生活に関しては、様々なことが日本と違いました。例えば、車が右側通行だったり、車のハンドルが左だったり、小さなことで言えばファスナーが逆だったりとにかくたくさんありました。初めはその違いに慣れるのにとっても大変でした。特に車に乗っている時、右側を走行するので、始めの二日間くらいは「ぶつかりそうだなー」とひやひやしていました。さらに、マクドナルドなどのファストフード店やギャップなどの洋服店では、アメリカの S サイズが日本の M サイズと同じくらいの大きさでサイズの違いにとっても驚きました。

食事で僕が一番驚いたところはお米が日本と違っていたところです。日本のお米に比べて形は縦に大きく横に細く食感はどちらかというと水分多めのねちねちしている感じでした。

学校に関しては、日本と違うところがたくさんありました。まずびっくりしたのは、校則がゆるいところです。アメリカでは、お菓子は持って行って OK で携帯電話も休み時間であれば使っても OK でした。日本ではありえない校則でした。次にスケールの違いです。校庭の大きさは、四中に比べて五倍近く大きく体育館も 2 つあり日本とのスケールの違いを感じました。そしてなんとといっても授業ごとにクラスのメンバーが変わるということです。日本では同じメンバーで様々な授業を行いますが、アメリカは、英語・数学・理科・社会・体育の基本科目に加えて美術・技術・音楽などの選択科目があります。さらに日本語・スペイン語・フランス語などの自由科目もありました。その中から自分で受ける授業を選択しその授業ごとにクラスを変えいくという日本と全く違うクラス形式でした。そこで感じたことは、アメリカのほうが日本に比べてたくさん人と関わるができるので、様々な意見を聞くことができているなと思いました。

最後にこのような貴重な体験をさせて下さった、ホストファミリー、パロアルトの方々、土浦市役所の方々、関わって下さった先生方、他中の友達、両親には本当に感謝しています。この体験を無駄にせず将来に活かしていきたいと思います。

本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第四中学校 中田 笙子

私は、平成30年3月17日から3月27日までの11日間のパロアルト市派遣を通してたくさんのことを学び、感じることができました。

まず始めに感じたことは、言葉の壁です。私がお世話になったホストファミリーはインドの出身の方で、日本語の学習をしたことのないバディの家庭でもありました。そのため、覚えたての英語で何とかコミュニケーションを図ろうと考えていた私にとって、発音の異なる英語に戸惑うことが多々ありました。しかし、諦めずに聞き取ろうと努力していくうちに、少しずつですが聞き取れるようになりました。そして、それだけではなくもっと努力して英語でのコミュニケーション能力を高めたいという強い決意に繋げることができました。

次に感じたことは、物事に対する考え方の違いです。その中でも特に痛感したのは、時間に対する受け止め方の違いです。私自身は日常的に時間に余裕を持って行動するように心がけてきました。しかし、バディの家庭では考え方が少し違っていました。そのため、私が思っていたようにスケジュールが進まず、本来であれば私が一番初めに到着していなければならないはずの答礼パーティーに遅刻してしまいました。また、それが原因となりたくさんの人に迷惑をかけてしまいました。ですがこれらは私の配慮不足が元となり起きてしまったことだと思っています。私は、普段とは違う環境にあるならば、現地の文化や習慣を理解した上で行動を起こすことが必要だったと思っています。そのためにも、英語でのコミュニケーション能力を向上させることが、このような事態を防ぐための手段となり、今後の私に最も必要な力でもあると思います。

私は、今回の11日間の研修を通して自分自身の不甲斐なさを痛感するとともに、今後の課題をはっきり見据えることができました。だからこそ、今回気付くことのできたたくさんの課題に対し、真摯に取り組んでいくことがこの研修を活かしていく本当の意味なのではないかと思っています。

現在、私がこのようにたくさんの課題に向き合っているのは、私を温かく迎えてくれたホストファミリーと不甲斐ないリーダーに協力してくれた15人の仲間たちのお陰です。その方たちへの恩返しの気持ちも込めて、英語でのコミュニケーション能力を向上させ、相手を理解し尊重するができるように精進していきたいです。今回の研修では、決して思い通りにいくことばかりではなかったものの、私の人生の中でかけがえのないものになったと思います。そのかけがえのないものをただの思い出にせず、今後の人生の教訓として活かしていきたいです。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第五中学校 栗又 拓実

僕は、今回のパロアルトの派遣を通じて、日本とアメリカの文化の違いを肌で感じました。その中でも特に印象に残っていることが3つあります。

1つ目は、食事についてです。日本での食事は、ご飯やパンなどの他に、サラダやスープなどのおかずがたくさんあります。しかし、アメリカでの食事では、1回の食事で、1つか2つの少ないおかずが出ます。アメリカの人々全てが同じだとは言えませんが、僕が行った家では、おかずの量は少ないですが、食べきれののかと思うぐらいの量で、足りなくなることはありませんでした。

2つ目は、学校の違いです。僕がバディと一緒にアメリカの学校に行ったときに、一番驚いたことは、1時間1時間ごとに教室を変えるため、自分のクラスというのがないということです。自分のクラスがないので荷物を置くところがないので、授業を受けるクラスの外にあるロッカーに入れていました。もう1つ驚いたことは、ほとんどのことが自由だったことです。学校指定の制服がないのでみんな私服で来ていたり、携帯を自由に使っていたりしていました。しかし、時間にはとても厳しい一面もありました。僕のバディが少し時間に遅れてしまったら教室の扉を閉められ、怒られていました。

3つ目は、アメリカ人の心の広さです。僕がそれを初めて実感したのは、入国審査の時です。僕が入国審査を受けているときには、僕が分かりやすいようにゆっくりはっきり話してくれました。そのおかげで、不安だった入国審査を超えられました。その人にはとても感謝しています。そのほかには、学校に行ったときです。初めて会った僕に声をかけてくれ、とても優しくしてくれました。さらに、僕が分からないことがあったときは、心優しく教えてくれました。僕のホストファミリーは、とても親切にしてくれていろいろなところに連れて行ってくださいました。さらに、僕がわからないことは、日本語に翻訳してそれを見せてくれました。僕は、人見知りなので、あまりうまくみんなと話すことができません。しかし、アメリカの人たちは、そんな僕に気軽に声をかけてくれ、自然と人見知りが消えていき、とても楽しく過ごすことができました。僕は、アメリカの人たちのみんなに気安く声をかけられる行動をまねしたいと思いました。

今回僕は、パロアルトに行き、本場の英語を身近でふれあうことで、自分の英語能力のなさと、英語はこの先生きていく上でなくてはならないものなのだと改めて実感しました。そして僕は、今回アメリカに行くことで、英語を聞き取る能力が以前よりつき、これからも英語を学びたいと思いました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第五中学校 佐藤 真鈴

私は10日間パロアルトで過ごしてたくさんのことを学びました。

今回のパロアルト派遣での私の目標は、英語力を高めることと、アメリカと日本の文化の違いを学ぶことでした。私はこの派遣を通して二つの目標を達成することができました。パロアルトに行く前は、ちゃんと会話ができるのか、生活ができるのかすごく不安でした。しかし、歓迎パーティーで初めてバディとバディの家族に会い、会話をするうちに不安はだんだんなくなっていき、最初のホストデイが終わる頃には、ホストファミリーと会話をするのがとても楽しくなりました。家での生活でも、何かわからないことがあると、ホストファミリーが日本語を使いながら優しく丁寧に教えてくれて、不安に思っていたことを忘れるくらい、とても楽しく過ごすことができました。

ホストデイではたくさんのところに連れて行ってくれました。そこでは、たくさん日本との違いを見つけることができました。私が一番驚いたことは、アメリカ人の人柄です。知らない人でも、私が日本人だとわかると声をかけてくれたり、お菓子をくれたり、とても優しくおもしろい人たちばかりでした。そのほかにも日本との違いはたくさんありました。私がずっと違いを感じていたことは、道路です。日本が左車線なのに対して、アメリカでは右車線でした。そのことは知ってはいましたが、実際に経験してみるととても違和感があり驚きました。

私はアメリカの学校に行くのがとても楽しみでした。しかし、うまく話せるのか、しっかり学校で話せるのかとても不安でした。そんな気持ちで学校に行って見ると、思っていたよりとても楽しかったです。休み時間には友達のように声をかけてくれたり、日本語で話したりしてくれたおかげで、緊張がとけてとても楽しく過ごすことができました。また、アメリカと日本語の学校はほとんどが違いました。お菓子やスマホを持って行ってもいいし、靴、リュック、髪は自由でした。授業でもたくさん違いがあったので、とても貴重な体験をすることができました。

私は今回の派遣でたくさんのことを学び、感じるすることができました。なかなかいいことが伝わらず、つらいときもありましたが、たくさんの人に支えてもらえたおかげで、とても楽しく充実した11日間を過ごすことができました。優しく受け入れてくれたホストファミリーや学校のみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、今回のパロアルト派遣で学んだことを将来に生かし、もっと英語力を高めていきたいです。このようなすばらしい経験をさせていただき、ありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第六中学校 鶴町 開

「交換交流」。僕は、この事業があることを中学1年生の時に知りました。もともと外国に興味があり、新しいことや新しい物にチャレンジすることが好きな僕は、「必ず参加する!」と強く思いました。いざ、派遣団に入ってみると緊張感や何とも言えない不安がありました。「パロアルトでしっかりやっ
ていけるのか?」、「ホストファミリーはどんな人なのだろうか?」そのような気持ちと共に日本を出発しました。

今回、僕は2つの目標を立てました。「アメリカでの生活を通して物事を色々な視点から見られるようにすること」と「英語を使ってしっかりコミュニケーションを図る」ということです。パロアルトの中学生達は、すぐに友達になってくれました。日本から来たと話すと、「Welcome to America!」と言って歓迎してくれます。心優しく勇気ある人にやさしい国だと感じました。このような国民性に僕は感動しました。パロアルトでたくさんの人とコミュニケーションを図るうちに、物事を色々な視点から見ることができ、心配りもできるようになったと思います。

刺激的な毎日が過ぎ、気が付けばお別れ。パロアルトの人たちは、初めて出会った英語が上手く使えない僕でも優しく受け入れてくれました。僕は彼らを尊敬し感謝しています。尊敬、感謝しているのはアメリカの人たちだけではありません。今回、一緒に時間を過ごした15人の仲間たち。慣れない環境で辛いことがあったりハプニングが起こったりしましたが、みんなで乗り越えました。最終日はパロアルトの人たち、15人の仲間との別れがとても辛かったです。涙をこらえていたけど、泣いてしまいました。そんなときに仲間が声をかけてくれたのはうれしかったです。パロアルトの学生たちと約束した通り、みんなでまたパロアルトに行きたいです。みんな、本当にありがとう。これからも仲間でいてください。

今回、こんなに素晴らしい機会を与えてくださり本当にありがとうございました。僕はアメリカの素晴らしさ、仲間の素晴らしさを知ることができました。これまでの人生で最高の経験です。将来、アメリカに住みたいという気持ちも芽生えました。引率して下さった堀越先生、菅谷さん、市長さんをはじめとした関係者の皆様に感謝します。そして、この交換交流を通じてパロアルト市と土浦市の関係がより良いものになることを祈ります。

本当にありがとうございました!!

Thank you very much!!!

パロアルト派遣を通じて感じたこと

土浦第六中学校 下村 莉央

「アメリカで友達を作りたい！」私はこの思いから、交換交流事業に参加しました。人生初の海外での生活。英語での会話に慣れない環境…何もかもが初めてのことで、はじめは不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、そんな気持ちも吹き飛んでしまうほど、あっという間で充実した、素晴らしい10日間を過ごすことができました。

私が1番印象に残っているのは、アメリカの学校です。どんなところなんだろう！？というわくわくした気持ちと共に、実際に行ってみると、自分の想像以上に自由でとても驚きました。ネイルをしたり、ピアスをつけて学校へ行くことができ、授業の休み時間には自分で持ってきたお菓子を食べる時間もあります。校則のある日本からしたら考えられないですが、とても新鮮で楽しかったです。

それから、もう1つアメリカの学校へ行って気づいたことがあります。それは、アメリカの人はとても気さくで優しいということです。日本語クラスでゲームをするときに、私がルールをよく理解できなくて困っていると、同じグループの人が声をかけてくれて、日本語で頑張って説明してくれました。とても嬉しかったことを今でも覚えています。私も、困ってる人がいたら手を差しのべられるような人になりたいです！

また、現地で生活したことによって、コミュニケーションの大切さも感じました。なかなか思うように会話ができてなくて落ち込むこともありましたが、それでも積極的にホストファミリーと会話しました。すると、だんだんと聞き取れるようになり、会話がはずむようになりました。その中でなんと、私とバディの好きなアーティストと漫画、そして趣味まで同じだったということを見つけたのです！共通の話題で盛り上がることで、本当に嬉しかったです。すっかり仲良くなってしまうと、お別れするのが寂しいと感じるほどでした。

この交換留学を通してたくさんの人と出会い、そして多くのことを学ぶことができました。素敵な家族と過ごしたこの10日間は忘れられません！この経験を自分の将来へとつなげていきたいです。このような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました！

パロアルト派遣を通じて感じたこと

都和中学校 大関 翼

今回のパロアルト派遣は、初めての海外ということもあり、驚きの連続でした。

まずは学校の違いです。アメリカでは科目ごとにそれぞれの教室があり、生徒たちは必修科目、または自由科目のどれかの授業に適する教室に移動します。また、それぞれの教室には授業で使うパソコンや iPad、イヤフォンが人数分ありました。ノートはあまりとらず、ほとんどがプリントやパソコンのような情報機器を用いて授業をします。宿題は授業ごとに一定の段階でプリントが出されていました。学校の廊下にはそれぞれ 1 人用のロッカーがあり、その中には日常的に使うものなどが入っていました。日本とは違い、制服がなく、スマホなども持っていけました。昼食はホストマザーが作ってくれたお弁当と、持参したお菓子などを友達と食べました。日本と比べ、自由にのびのびとしている印象を受けました。

最初は「自分の英語が通じるかな?」、「英語をちゃんと聞き取れるかな?」など、不安がいっぱいでしたが、ホストファミリーが身振り手振りでわかりやすくコミュニケーションをとってくれたので、話しやすく、そしてとてもわかりやすかったです。人とのコミュニケーションでは、アメリカの人達は思っていることが表情によくでます。そのおかげで何を考えているのかがわかりやすいので、安心してコミュニケーションをとることができました。そして普段自分が日本語という言葉にとっても頼って人とコミュニケーションをとっていたことに気づきました。日本語は繊細で細やかな気持ちを表現できるので、表情に表さずともこちらの気持ちが伝わります。日本語がほとんど通じない海外で生活し、色んな人と接して改めて日本語の良さを痛感したように思います。同時に、もっと英語を勉強して、嬉しかった気持ち、感謝している気持ちをバディやその家族に伝えられるようになりたいと強く思いました。

最後に、このような素晴らしい経験をする機会を与えてくださった土浦市長さんをはじめ、土浦市役所の皆様、土浦市国際交流協会の皆様、パロアルト市の皆様、先生方、あたたかく受け入れてくださったホストファミリー、この研修を支えてくださった全ての方々に感謝します。

みなさん、本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

都和中学校 星 綾音

私は、今回のパロアルト派遣を通じてたくさんのことを経験し、色々なことを学ぶことが出来ました。

パロアルトへ行き感じたことの1つ目は、日本とアメリカの学校の違いです。ピアスを開けたり、ネイルをしたり、髪の毛を染めたりと、日本と違い校則があまり厳しくなく、アメリカらしい自由な感じがしました。また、授業間にお菓子を食べる時間のようなものがあり、フルーツを食べたりスナック菓子を食べてりと、たくさんの人が様々なものを食べていました。放課後は、友達とアイスを食べに行ったり、買い物をしたりしていました。このような経験は日本では出来ないので、新鮮で楽しかったです。

2つ目は、アメリカの人はすごく優しくフレンドリーだと感じました。学校に行き、英語があまり得意ではない私に、「Hello!!」と、たくさんの人たちが話しかけてくれました。また、私が解るようにと、身振り手振りで、ゆっくりと話してくれたり、日本語で話してくれたりと、すごく優しく接してくれました。私は、日本を出国する前は、「英語が伝わるか」、「聞き取れるか」と、不安ばかりでした。ですが、現地に行き、日を追うごとに英語にも慣れてきて、少しずつですが理解できるようになり、自分でも少し話せるようになりました。もっと勉強をして、自分が思っていることを相手にスラスラと伝えられるよう、もう一度、アメリカに行きたいと思います。

3つ目は、ホストファミリーの優しさ、温かさを直に感じられたことです。バディのお父さん、お母さん、そして2人の可愛い弟たちには、不安であった英語でのコミュニケーションを、分かりやすくゆっくりと話してくれました。帰りたくないと思ってしまうほどの、充実した毎日を送ることが出来ました。

最後になりますが、今回、このような貴重な体験をする機会を与えてくださった、土浦市長さんをはじめとする、土浦市国際交流協会の皆様、土浦市役所の方々、その他この交換交流事業に携わって下さった方々に感謝したいと思います。

本当に、ありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

新治学園義務教育学校 渡邊 壮梧

僕は、今回のパロアルト派遣を通して、初めて日本以外の文化にふれ、様々な事を学び、感じる事ができました。

僕が、この事業に参加した理由は、純粋に親に勧められ、興味が湧いたからです。ホームステイならではの、旅行では決して出来ないような体験ができるのではと考えたことが決定打になりました。実際、向こうに行ってみるとその通りで、ホストファミリーの一家になった様に行動することでアメリカの文化をととても近くで感じる事ができました。

まず、学校では、日本とは違いほとんどの授業でパソコンを使います。そして、宿題もパソコンでやります。なので、誰でもパソコンを使うのが上手だったのが印象的でした。又、日本のような規則が無く、決まった教室が無いというのに驚きました。昼食は各々が友達同士で集まり食べていたし、普通にお菓子を食べ、スマホを使っていたので日本の中学でこれをやったらどうなるのかなとも思いました。

次に、何でもかんでもではないですが、日本よりも大きいものが想像以上に多いことに驚きました。海外は、日本よりものが大きいのは知っていましたが、まさかと思うような物まで大きかったです。その代表例が道やバスです。道はこんなに広ければ渋滞は絶対にしないと断言できるほどだったし、バスはトイレ完備で、座席は足を出せば安定して転がっていられるくらいの広さがありました。

他にも色々感じたことはありますが、最後に、最も強く感じたことです。それはアメリカ人の日本とは違ったコミュニケーション能力です。向こうの人は、大体が陽気で明るいことです。なので、日本では、すぐに仲良くなることなんて珍しいですがアメリカでは Hi!や Hello!と声をかけられたら、すぐに意気投合しているような感じでした。僕自身も親しげに話しかけられることが多々あったし、すぐに仲の良い感じになることがありました。ここから、僕は声をかけることすら躊躇う性質なので、見習いたいとおもいました。

人見知りで、英語をあんまり喋れないので大変だったし、様々な人に迷惑をかけましたが、とてもいい経験が出来ました。又、今回の経験を糧にし、言葉の壁や文化の壁があっても、普通にコミュニケーションをとれるようになりたいと思いました。最後になりましたが、このような貴重な体験をさせて下さいました、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

パロアルト派遣を通じて感じたこと

新治学園義務教育学校 吉村 優菜

私は、今回の交換交流事業を通してたくさんのことを学び、たくさんの経験をすることができました。

パロアルトに行って一番感じたことは人々の優しさです。まずホストファミリー。私の好きなことをたくさん探してくれ、覚えてくれ、行ってくれました。ホストファミリーはホストディ最終日にビーチに連れていってくれました。これは、私がサンフランシスコで撮ったビーチの写真を、この写真好きなんだと見せたからだと話していました。何気なく話したことなのに覚えていてくれて、連れていってくれて、とてもうれしかったし、優しいなと思いました。

次に、JLS 中学校の生徒です。中学校では歓迎パーティーを行ってくれました。その時のゲームでチームで宝探しのようなゲームを行いました。その際、私はルールが理解できず、とりあえずついていくような感じでした。しかし、それに気づいたのか、日本語を交えて一生懸命ルール説明をしてくれ、楽しむことができました。

この様に、現地の人はフレンドリーに優しくしてくれ、とてもうれしくなりました。また、私ももっとたくさんの人に優しくしようと考えようになりました。

次に、日本とパロアルトの学校の違いです。たくさんことに違いがあり、面白かったです。教科によってクラスが変わったり、2時間目と3時間目の間にはランチと呼ばれるおやつ休憩があったりしました。また、授業中にガムを噛んでも良いし、アクセサリーをつけていてもいい。さらに、髪を染めても良いのです。日本のきつい校則の学校生活とは違く、ゆるい感じでした。ですが、みんな真面目に授業を受けているのを見て、ゆるくても、学校全体がまとまっている感じがしました。JLS 中学校は写真撮ろうよ!と優しく声をかけてくれる人が多く、良い学校だと思いました。

また、パロアルトではコミュニケーションの大切さについても学ぶことができました。あまり上手な発音ができなくても、ゆっくりとアイコンタクトをしながら話せば、だいたい理解してもらえることができました。そして、もっと大切なのがジェスチャーです。言葉だけでは伝わらなくても、ジェスチャーを使えば伝えることが多々ありました。会話は、勉強だけでは成り立たないものだということが分かりました。

最後に、今回このパロアルト交換交流事業に参加したことは、これからの将来に役立つ良い経験になったと思います。もっとたくさん英語を勉強し、またアメリカに行きたいと思います。この様な体験の場を設けてくださった関係者の皆様、ホストファミリー、ありがとうございました。

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～成田空港にて～

いよいよ出発。
飛行機が無事に出発してくれると
いいな…。

大島 幸太郎

いよいよ出国だー！
まだまだ実感わかないけど
楽しみ！
エリン待っててね。

内山 和奏

もう出発か！
アメリカでの生活が楽しみ～。
だけど少し不安…。

田上 公平

まだかな、まだかな～。
早く！早くアメリカに！！
機内食、あんま期待してなかった
けど、ふつーに良き！

松岡 侑美

ついに、アメリカへ出発です。
期待と緊張で胸がいっぱいです。

阿籬 大士

いまから行くぞお！
なんか緊張する…。
けど同時に楽しみ～！

菊池 桜輝

成田空港ついたー！
これから出発！楽しみだなー。

木下 颯斗

いよいよ出発！
やっと実感がわいてきた。
いい経験が出来るといいな～。

中田 笙子

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～成田空港にて～

成田到着！もうすぐ出発だあー！
今からアメリカ行くっていう実感が
ないな。

栗又 拓実

いよいよ出発か～。
もうすぐアメリカ！！
実感わかないけど楽しみ！

佐藤 真鈴

ついに来た～！
上手くコミュニケーションを取れ
るかな…。土浦からの子たちとも
もっと仲良くなりたいな。
とにかく楽しみ過ぎる～！

鶴町 開

まだまだ実感がわからない…笑
初アメリカ楽しみ～！

下村 莉央

初めての海外で緊張するなあ。
でもその分楽しみだっ！！

大関 翼

初アメリカ。不安しかない。
頑張ろう！

星 綾音

もう成田。
不安な事ばかり。
でも、精一杯楽しんで、精一杯
頑張ってください！

渡邊 壮梧

いよいよ出発か～。
実感わかない！行ってきます！

吉村 優菜

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～サンフランシスコ到着～

飛行機で全然眠れなかった。
やっぱり土地が広い…。

大島 幸太郎

アメリカ上陸！！
街がすごくかわいい。
エリンと早く会いたい。

内山 和奏

ついにアメリカ上陸！！
ここから楽しい生活が始まるのか
あ。
早くバディに会いたい(≧▽≦)/

田上 公平

いよいよだ～。やばい…英語だけ
とかつらすぎ～～～。
どんな子かなあああああ。

松岡 侑美

何もかもが日本と違い、
戸惑ってばかりです。

阿藪 大士

うおおー！
ついに着いたぞ、アメリカに！
久しぶりだな。この空気と雰囲気。

菊池 桜輝

アメリカ来たー！
ホストファミリーは、どんな人か
な～。早く会いたいな～。

木下 颯斗

わあ～、やっと着いた～！
バディとの対面。緊張する！

中田 笙子

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～サンフランシスコ到着～

初めてのアメリカ本土！
なんか日本と雰囲気が全然違う。
早くホストファミリーに会いた
い！

栗又 拓実

ついにアメリカだ～！！
やっとついた！
ドキドキしてきた。
アメリカでの生活頑張ろう！

佐藤 真鈴

ついに本土上陸～！
何もかも大きいな…バスがマジで
大きい！興奮が止まらない…。
オースティンに早く会いたい！

鶴町 開

わーい！着いたぞー！
はやく Laura に会いたいな(*^~^*)

下村 莉央

飛行機が長かった…。
結構疲れたよ～。
初めてだからめっちゃ興奮してき
た！

大関 翼

アメリカ到着！
周りが英語ばかり。
生活が楽しみだ～！

星 綾音

バスのサイズ異常。
飛行機で寝られなかったけど全然
元気。
すごいワクワクしてきた。

渡邊 壮梧

やっと着いた！
わくわくでいっぱい。
何もかもが大きい！！

吉村 優菜

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～前半を終えて～

みんなフレンドリーでよかった。
ヒアリング力も戻ってきた気がする。

大島 幸太郎

早すぎる…。
毎日が新しい発見で充実してる。

内山 和奏

アメリカの学校マジで楽しい。
日本の学校も、アメリカみたいにならないかな？
1日1日が早すぎる！？

田上 公平

もう半分しかないの???
初日の不安はどこに行ったの?!
日、たつの早すぎ…。
日本になんて帰らない…!!!

松岡 侑美

最初は戸惑ったものの、住めば都。
とても楽しい日々をおくっています！

阿籬 大士

ああ、もう半分終わったのか…。
時が流れるのが早過ぎて意外。
後半もばっちり楽しめるようにするぞー！

菊池 桜輝

もう前半終わっちゃったの!?
意外と早いなー。
後半も頑張るぞ！

木下 颯斗

意外とあっという間～!
やっと英語にも慣れてきた。
後半も色々学びたい！

中田 笙子

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～前半を終えて～

時間が過ぎるのがとても早く感じる。アメリカの生活にも慣れて楽しく過ごしているのになー。
残りの時間も全力で楽しもう！

栗又 拓実

もう前半終わっちゃったんだ。
早すぎ！
あと半分思いっきり楽しもう！

佐藤 真鈴

友達めっちゃできた～！みんなフレンドリーで良かった～！
英語で話すのは大変だけど、他のメンバーと協力して頑張ろう！
アメリカの学校、いいな…。

鶴町 開

なんだかんだ早いな！？
ちょっと日本に帰りたいとも思ったけど、毎日が楽しい！

下村 莉央

短い…もう半分か～。
もっと楽しまなきゃ！

大関 翼

毎日が楽しすぎて
時間経つの早いな～。
後半も楽しもう！！

星 綾音

もう半分終了したの！
だんだん慣れてきた。
残り半分、前半より楽しむぞー！

渡邊 壮梧

もう半分？早いよ～。
めいっぱい楽しもう！！

吉村 優菜

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～ヨセミテ国立公園見学～

百年に一度の大嵐で立入禁止…。
別の宿に泊まって違う観光スポットに行く予定になったけど、ヨセミテ観光したかった。

大島 幸太郎

行きたかったー。
とてもとても。
いつか行ってみたいな。

内山 和奏

雨だ…。
8時間ぐらいバスの中か？
ヨセミテ、観たかったな(´Д｀)

田上 公平

まさかの大雨…。
ここから抜け出せないって何？！
何時間もかかるって何？！
今、どこ??????

松岡 侑美

ついにヨセミテ！と思ったものの、悪天候で行けませんでした。
代わりに、フィッシャーマンズワーフなど様々な名所を周り、とても充実した日でした。

阿籬 大士

今回はヨセミテ国立公園に天候の影響で行けなくて残念だった。
その代わりに行ったところも楽しかったけど、行きたかったな。
機会があったら、今度は行きたいなあ。

菊池 桜輝

大雨で何も見えなかったー。
残念だなー。
でもバスの中で友達とたくさん喋ることができて楽しかった。

木下 颯斗

楽しみにしてたけど、残念…。
でも、代案のプランは、とても充実してた～！

中田 笙子

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～ヨセミテ国立公園見学～

急遽の大雨でヨセミテを出ることになってしまった。
あまり景色は見られなかったけれど、長時間みんなとバスで過ごすことで絆が深まったとおもう！

栗又 拓実

滝がいっぱいある！！
すごい大雨でヨセミテのきれいな景色は見られなかったけど、バスの中でみんな仲良くなれたからよかった。

佐藤 真鈴

おいおい、雨かよ…ヨセミテの絶景、見たかったな～。20年に一度の大雨？？マジかよ（笑）
バスの中は20年、いや100年に一度の大盛り上がり！
めっちゃ仲良くなれた。

鶴町 開

あああヨセミテ行きたかった…。
大雨でなにも見えない！
川がやばいことになってる。
でも海に行けたからよかった。
すっごくきれいだった！

下村 莉央

てるてる坊主つるしとけばよかったかなあ。行けないのは悲しい。
もったいないから楽しもう。

大関 翼

ここから何時間も出られないの？
やだなあ～。早く出たい！

星 綾音

すごい。天気悪い。でもキレイ。
果てしなく続く大自然。
めっちゃ感動っ！

渡邊 壮梧

あいにくの雨～泣
でも、すっごく綺麗！もう一度、晴れの日に行きたいな～。

吉村 優菜

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～ホームステイを終えて～

初対面でここまで優しく迎え入れてくれたホストファミリーに感謝。
最初は不安だったけど、毎日楽しかったです

大島 幸太郎

もっともっとホストファミリーといたかった。寂しい…。
貴重な経験をありがとうございました。
絶対に忘れない。

内山 和奏

家に帰りたくない。
もっとホストファミリーの皆さんと過ごしたかった…。

田上 公平

もう終わり？？？お別れとか考えられないほど悲しい…。こんなに中身の濃い11日間初めてだったな。最初日本に来れないって言ってたけど来れるって、嬉しすぎ。ありがとう。

松岡 侑美

今日でホストファミリーともお別れです。
悲しいですが感謝の気持ちでいっぱいです。

阿籬 大士

ああ。
もう終わってしまったのか…。
まだ、ここを離れたくない！
貴重な体験だった！！

菊池 桜輝

もう終わりかー。
とっても楽しかった！
6月にまた会おう！！

木下 颯斗

10日間、色々あったけど、いい経験になった。
これを活かしてこそ、研修に意味があるんだな～。

中田 笙子

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～ホームステイを終えて～

9日間とても充実して過ごせた！
最初はどうなるのかと思ったけど、
とても楽しかった。
ホストファミリーもみんな優しく
接してくれたので嬉しかった！

栗又 拓実

もう終わりなんだ。
早かったな。
まだホストファミリーとお別れし
たくない！すごく楽しかった！
みんな本当にありがとう！！

佐藤 真鈴

帰りたくないよ…みんなと別れる
のがツライ…。本当に楽しかった。
涙が止まらない、必ずここに戻って
くるよ！みんな待っててね！
オースティン、6月に待ってるよ！

鶴町 開

早かった…まだ帰りたくない！！
ほんとに楽しかった！
ホストファミリーのみんなありが
とう！また来たいな。

下村 莉央

まだまだやりたいが事たくさんあ
るのに…。時間がこんなに早く感
じるのは初めてだ。
ホストファミリー最高！！
めっちゃアメリカ楽しかった！

大関 翼

本当にお世話になりました。
たくさんの思い出が出来ました。
ホストファミリーありがとう～！

星 綾音

これで終了か～。
すごい優しくしてくれて、
すごい楽しかった。
最高の10日間をありがとう！

渡邊 壮梧

何もわからない私に優しく教えて
くれたホストファミリー。
感謝です。ありがとう。

吉村 優菜

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～日本に帰国して～

帰ってきてしまった…。
普段通りの生活に戻ってしまった。
またアメリカに行きたいなあ。

大島 幸太郎

ただいま日本。
なんかホッとする。
思わず YEAH って言っちゃった。

内山 和奏

もう帰ってきちゃった！
無事に帰ってこられてよかった～。
けどもっとアメリカにいたかった。
またアメリカ行きたい(*´▽`*)
おかえり自分！！

田上 公平

帰ってきちゃった…。現実にはたたき
おこされた感じ…。あんだけ帰らな
いって言ってたのに…。
未だにアメリカ気分。ここがアメリ
カだったら…泣

松岡 侑美

ついに、日本に帰ってきました。
アメリカも楽しかったけど、やはり
母国は落ち着きます。

阿籬 大士

フライト10時間なんてあっとい
う間。11日間なんてもっとあっ
という間に感じた。
超楽しかった！受験が終わったら、
遊びに行こうかな～！

菊池 桜輝

帰ってきちゃったなー。
でも、日本は本当に安心するなー。
本当にありがとうございました。

木下 颯斗

11日間、振り返るとあっという
間。でも、いろんな意味でいい勉
強になった。
この経験を無駄にしないように頑
張っていこう！

中田 笙子

土浦市中学生交換交流事業 研修だより From USA

～日本に帰国して～

本当にあっという間だった！
とても寂しいけど、なんかほっとした。日本語を見るのが懐かしい！

栗又 拓実

もう帰って来ちゃった。
もっとアメリカにいたかった！
でも日本語が通じるって楽だな
また行きたい！！

佐藤 真鈴

飛行機で今までを振り返ってた。
涙が止まらない(泣) また戻りたいな…タイムワープしたい！
みんなありがとう！また行こう！
6月には最高のおもてなしをするぞ！！

鶴町 開

帰ってきちゃった…。
やっぱり日本は落ちつく！
久々の日本食がおいしい！
いい経験になった(*´▽`*)

下村 莉央

自分の家族、家は安心するなあ。
もっと英語話せるようになって、ホストファミリーにまた会えるように頑張りたい！日本に来てくれた時には、最大限おもてなししよう！

大関 翼

ただいま日本！
アメリカの生活も楽しかったけど、やっぱり日本が落ち着くなあ…。
でもまた行きたい！

星 綾音

日本語久しぶり。箸を使うの下手になったかも(笑) 日本の食べ物おいしい。もう一回行きたいな、ちゃんと勉強して。ただいま。そして、ありがとうございました。

渡邊 壮梧

帰ってきた日本！
やっぱり安心する。
もっと英語を勉強して、また、アメリカに行こう！！

吉村 優菜

引率者より

土浦第六中学校教諭 堀越 千鶴

前日降っていた雨がすっかり止み、空が綺麗に晴れ渡った3月17日。

輝く太陽と青空が不安と希望で胸が一杯だった私たちの出発を祝福し、「いってらっしゃい」と励ましてくれているかのようなようでした。成田空港を発ち、約8時間半もの長いフライトの末に機内からアメリカ本土が見えた時の研修生の歓声は、今でも耳に残っています。

サンフランシスコ到着後に、歓迎パーティーの会場、JLS 中学校に向かいました。私たちの乗ったバスが着いた時、あいにくの雨の中を手作りの横断幕を掲げて大勢の皆さんが出迎えて下さいました。自分のボディを探すためにジェスチャーを交えて大きな声を出し、見つけると抱きしめてくれるような光景も見られました。その温かい歓迎のおかげで研修生の緊張も解け、初めて会ったにも関わらず、打ち解けるのに時間はかかりませんでした。

19日に JLS 中学校とジョーダン中学校をそれぞれ訪問させていただいた時、すっかり現地に馴染み、談笑する研修生の姿がありました。事前の研修会では自身のもつ英語の力がどれだけ通じるかを試してみたいという声が多く聞かれましたが、多くの生徒と関わり、親交を深める様子からは、英語の力だけではなく異文化に適応する力やコミュニケーション能力の高さをうかがい知ることができました。自分の考えや思いを伝えたいという強い意志をもち、食欲に現地の生活からたくさんのかを吸収しようとする意欲の表れだったのだと思います。

滞在中、いくつかのご家庭にディナーに招いていただきました。自分の子どものように接し、愛情を注いでくれるホストペアレンツや、快適に生活できるよう気遣いをしてくれるボディ、そしてその家族の一員として自分にできることを意欲的に行いながら笑顔で生活する研修生の日常を垣間見ることができました。インド系やヒスパニック系などホストのルーツの国によって

多種多様な家庭の姿があり、その生活を通して生きた文化を体感できたこと
と思います。私自身、あるご家庭でいただいたライスに驚きました。スパイ
スが効いたカレーとともに食べると辛味が軽減するように、そのライスには
ヨーグルトが混ぜられていました。国が違えば、もちろん文化や習慣も変わ
ります。これらの違いをあるがままに受け入れること、それが視野を広げる
ことに繋がるのだと身をもって感じました。また、「アメリカは多民族国家で
ある」ということを再認識するきっかけともなりました。

「ああ、日本に着いちゃったね」という生徒の声に、私も程なく成田空港
に着陸する機内から窓の外を見ると、満開に咲く桜の木々が目に飛び込んで
きました。それらを見て、パロアルト市を発つ日に皆で植樹した桜の木を思
い出しました。私たちが植えた桜の木が太く大きく成長するように、これか
ら土浦市とパロアルト市のつながりはより強固になっていくことでしょう。
そのために自分たちにできることは何かを考え、今後も協力を続けることは、
私たちに与えられた任務であると思います。

日本を離れ、人の温かさに触れながら海外で生活した今回の経験。自ら一
歩世界へ踏み出したことは、研修生一人一人の将来の可能性を広げることと
確信しています。

最後になりますが、緊急のトラブルがあった中を無事に帰国することがで
きたのは、ひとえにこの土浦市交換交流事業に携わる土浦市とパロアルト市
の関係者の皆様を始めとする多くの方々のサポートのおかげだと感じており
ます。そして土浦市交換交流事業の引率という大変貴重な機会をいただけま
したこと、それにあたって多大なるご支援とご協力をいただきましたことに
深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

引率者より

土浦市市民生活部市民活動課 菅谷 博

平成30年3月17日、土浦市で結団式を終え、成田空港に向かう生徒16名はこれから始まるアメリカでの生活を思い、緊張と期待が入り混じった複雑な表情をしていたに違いありません。しかし、現地につくとそうした想いは、全くの杞憂だったことがすぐに分かりました。

サンフランシスコ空港からパロアルト市の歓迎パーティー会場にバスで到着したときのホストファミリーの熱狂的で心温まる歓迎ぶりは、今でも目に焼きついています。初めて会ったにもかかわらず、旧知の友人のようなフランクさで接して下さり、これから始まる11日間の生活の不安を一瞬にして吹き飛ばしてくれました。

研修期間中に何度かホストのお宅の夕食に招かれる機会がありましたが、いずれの家も初めて訪れた私たちに対して、本当の家族のように温かく接してくれている様子が伝わってきて、親戚の家に久しぶりにいったような気持ちになったものでした。

数日が経過すると、生徒たちも日、1日と現地の生活になじんでいく様子が手に取るように分かり、研修後半になると、日本に帰りたくないなどの声も、よく見聞きするようになりました。それと同時に学校の授業中堂々と発言する様子などは、当初見せることの無かった自信に満ちた表情に変化していて、私まで嬉しいような誇らしいような思いで胸がいっぱいでした。

楽しみにしていたプログラムの一つヨセミテ公園の見学は、あいにくの豪雨となってしまうしました。バスの中から観光スポットを眺めるのみで当初予定していた現地のホテルには宿泊できませんでしたが、このトラブルが起こったことはみんなの団結力を高め、むしろ思い出深いエピソードとなりました。

最終日の答礼パーティーには会場の一角に両市の関係者が記念樹を植えました。今回植えた樹がパロアルト市の生徒たちと土浦市の生徒たちの友情の象徴となり、大きく育っていくことを期待しています。

また、話に聞いていた恒例のパロアルトを立ち去るバスを追いかける見送りは今年も行われ、名残惜しい別れをさらに感動的なものにしてくれました。

ちなみに、多文化共生社会の実現を目指し、平成26年度末に策定した「土浦市多文化共生推進プラン」には、多文化共生とは「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくこと」とありますが、この中学生交換交流事業はこれを実体験として経験できるまたとない機会だと思います。

今回参加された皆さんが、派遣生としての現地での生活やホストとしての日本での受け入れ体験に刺激を受け、世界への視野を広げる一つのきっかけとなり、将来国際交流の分野に何らかの形で係わっていただければ幸いです。

最後に、関係者の方々による長年の温かいご理解とご協力があり、この事業が発展し続けることができ、両市の絆をより一層深める姉妹都市間の中心事業となりました。改めて御礼を申し上げます。

受入れの部

平成30年6月土浦市中学生交換交流事業(土浦市受入れ) 参加者名簿

土浦市側		パロアルト市側	
氏名	学校名	氏名	学校名
大島 幸太郎	土浦第一中学校	Nathaniel Ibuyan ナサニエル・イブヤン	ジョーダン中 7年生
内山 和奏	土浦第一中学校	Elizabeth Lee エリザベス・リー	パロアルト高校 9年生
田上 公平	土浦第二中学校	Thomas Rimsa トーマス・リムザ	ジョーダン中 8年生
松岡 侑美	土浦第二中学校	Michaela Seah ミケラ・シーア	パロアルト高校 9年生
阿蘇 大士	土浦第三中学校	Jordan Kahn ジョーダン・カーン	ジョーダン中 7年生
菊池 桜輝	土浦第三中学校	Yash Vora ヤシュ・ヴォラ	ジョーダン中 8年生
木下 颯斗	土浦第四中学校	Ayaan Furtado-Tiwari アヤーン・ファード・ティワリ	J L S 中 8年生
中田 笙子	土浦第四中学校	Madison Wong Brady マディソン・ウォン・ブレイディ	J L S 中 8年生
栗又 拓実	土浦第五中学校	Bram Feenstra ブラム・フィーンストラ	J L S 中 7年生
佐藤 真鈴	土浦第五中学校	Jade de Anda ジェイド・デ・アンダ	ジョーダン中 8年生
鶴町 開	土浦第六中学校	Austin Eng オースティン・イング	ジョーダン中 6年生
下村 莉央	土浦第六中学校	Laura Lengre ローラ・レングル	J L S 中 8年生
大関 翼	都和中学校	Owen Bittinger オーウェン・ビットィンガー	ジョーダン中 7年生
星 綾音	都和中学校	—	—
渡邊 壮梧	新治学園義務教育学校	Evan Seki エヴァン・セキ	ジョーダン中 8年生
吉村 優菜	新治学園義務教育学校	—	—

2. パロアルト市側引率者

氏名	備考
Jennifer Buenrostro ジェニファー・ブエンロストロ	ネイバーズアブロード副会長
Peter Buenrostro ピーター・ブエンロストロ	Jennifer Buenrostro 夫
Christopher Buenrostro クリストファー・ブエンロストロ	Buenrostro 夫妻 長男
Lorena de Anda ロレナ・デ・アンダ	Jade de Anda 母

受入れ日程

日付	主なプログラム
平成30年 6月7日(木)	東京見学 ※パロアルト市参加者のみ (江戸東京博物館、東京スカイツリー、浅草)
	歓迎・交流パーティー 【会 場】 霞浦の湯 大ホール会議室 【時 間】 18時30分～20時00分
8日(金)	日光東照宮見学(パロアルト市参加者のみ)
9日(土)	ホストデイ(終日、ホストファミリーと共に)
10日(日)	ホストデイ(終日、ホストファミリーと共に)
11日(月)	【パロアルト市派遣生】 ホストと中学校体験 【パロアルト市引率者】 中学校訪問(土浦三中 10時00分～11時00分) (土浦六中 11時30分～13時30分) ※土浦六中にて生徒と給食体験
12日(火)	【パロアルト市派遣生】 ホストと中学校体験 【パロアルト市引率者】 中学校訪問(土浦五中 9時30分～10時30分) (新治学園 11時00分～12時00分) 高校見学 (土浦二高 16時20分～17時00分)
13日(水)	関西方面研修(京都、広島、姫路 ほか) ※パロアルト市参加者のみ
14日(木)	
15日(金)	
16日(土)	そば打ち体験(両市派遣生及び引率者) 【場 所】 小町の館 【時 間】 9時30分～12時30分 座禅・茶道体験(両市派遣生及び引率者) 【場 所】 向上庵 【時 間】 13時00分～15時30分
17日(日)	答礼パーティー 【会 場】 ワークヒル土浦 【時 間】 10時00分～12時00分 パーティー終了後、パロアルト市参加者は羽田空港へ向けて出発

My impression of Japan is that it's charming. Japan is a country rich with history. A country overflowing with natural and cultural beauty. Tsuchuria reflects all of these qualities. My host student's house was very traditional and her family was very welcoming. They showed me around the city and I fell in love with the comfortable and homely aesthetic. Because I like video games they took me to the arcade and the mall demonstrating the perfect balance of urban and greenery that is Tsuchuria. One of my favorite memories was when I attended school. At first, I was nervous, I was told that Japanese students were ever so studious and tidy. I was scared I would not meet their expectations, but I was pleasantly surprised. The students were loud, loose, and fun loving. Seeing that kids were the same no matter the country was relieving, enabling me to fully enjoy Japanese school life.

Temples are the cathedrals of Japan, grand and of full of cultural background. Nikko was my favorite because of its serene location and how it displays Japan's unique architecture. Although the Kinkaku-Ji (the golden temple) and the Ryoan-Ji (the one with the rock garden) are crowded with tourists, they are both worth going to and are truly works of art. The Asakusa temple is huge. It is more like a marketplace where you can buy souvenirs and food for fair prices. Since it is crowded and there is no shade it is very hot, fortunately, they sell ice cream.

On our way to Kyoto, I quickly discovered the absolute treasure that is vending machines. What really makes the vending machines special besides the delicious drinks or snacks, was that they are everywhere. This adds to the general charm. I loved our stay in Kyoto, the hotel was culturally unique and surprisingly comfortable since we slept on the floor. The city of Kyoto itself is more urban then expected but overall wonderful. From Kyoto, we went to Himeji Castle and the Deer Island. I especially loved how sneakily Himeji castle was built, the hidden traps how it was near impossible to invade. The deer island had the best Okonomiyaki, and one of the most beautiful sceneries.

Lastly, was energetic Tokyo. I personally love busy cities like Tokyo, skyscrapers and neon lights are one of the reasons I love traveling. After seeing a more traditional Japan, we got to discover a different type of culture. Pop culture. When my host family took me to Harajuku I was thrust face first into the youth of Japan, their clothes, and their interests. Although there still is a "kawaii culture" it has died down. According to my host student, American streetwear is the newest trend, all denim, and graphic tees. The anime shop and the arcade was all I could hope for. Busy and full of things I can spend my money on, exactly what I love about cities like Tokyo.

As I waited in the Haneda Airport for the plane to Japan, I was excited and had high expectations for what I was about to experience. And Japan did not disappoint.

＜和訳＞

私にとって、日本はとても魅力的です。日本は豊かな歴史のある国です。自然美と文化美に満ちあふれた国です。土浦はこれらすべての特色を反映しています。私のバディの家はとても伝統的な家屋で、ご家族はとても歓迎してくださいました。市内を案内してくださり、心地よく、素朴な美しさにほれ込みました。ゲーム好きな私のためにゲームセンターやモールにも連れて行ってくださったのですが、土浦は都会と緑の完璧なバランスを示してしています。お気に入りの思い出の一つに学校訪問があります。当初は緊張しました。日本の学生は常に勉強熱心で、几帳面であると聞かされていたからです。私は彼らの期待に添えないのではないかと戦々恐々としていましたが、実際にはうれしい驚きがありました。生徒はにぎやかで、自由で、面白いことが好きでした。子どもはどの国でもみな同じだということがわかり、私はほっとして、日本の学校生活を十分に楽しむことができました。

お寺は日本の大聖堂にあたる場所で、壮大で文化的背景に満ち満ちています。日光は静かな場所にあり、日本独特の建築を示しているところが気に入っています。金閣寺(黄金の寺)や竜安寺(石庭のある寺)は観光客で混雑していましたが、それらは全て訪れる価値があり、本物の芸術作品です。浅草寺は広大で、むしろお土産や食べ物に適正な価格で買うことができる市場のようなところですよ。とても混雑していて暑く、日陰はなかったのですが、幸いアイスクリームが売られていました。

京都へ行く途中、私はすぐに自販機という完全無欠の宝物を発見しました。おいしい飲物や軽食に加えて、自販機が特別なのは、それがあちこちにあるからです。このことが普遍的な魅力を加えています。京都での滞在を楽しみました。旅館には独特の文化があり、和室で眠ったのですが、驚くほど心地よかったです。京都自体は思っていたよりも都会でしたが、全般的に素晴らしかったです。

京都からは姫路城と宮島(鹿の島)へ行きました。とりわけ侵略をほぼ不可能にしたという隠し仕掛けが施された姫路城の建築を楽しみました。宮島には最高のお好み焼きと、最も美しい景色の一つがありました。

最後はエネルギッシュな東京でした。私は個人的に東京のようなにぎやかな街が好きで、超高層ビルやネオンライトは私が旅をする理由の一つです。伝統的な日本を見学した後は、異なるタイプの文化を発見しなければなりません。それはポップカルチャーです。ホストファミリーが原宿に連れて行ってくださった時には、日本の若者、服装や彼らの関心事に背中をぐいと押された感じがしました。「カワイイ文化」はまだ存在していますが、下火になっています。私のバディによると、アメリカのストリートウェア、つまり上下デニムやグラフィックTシャツが最新のトレンドだそうです。アニメショップやゲームセンターは私が待ち望んでいた場所でした。賑やかでたくさんの物にお金を使える、まさに東京のような街が大好きなのです。

(来日時)日本の空の玄関口である羽田での待ち時間中、私はわくわくし、これから経験することに大変期待していました。そして、日本はその期待を裏切りませんでした。

My first trip to Tsuchiura, Japan

Our visit was wonderful! The first day after we arrived, Tsuchiura City Staff welcomed us in Tokyo and took us through the Tokyo Edo Museum, the Temple at Asakusa, and the Tokyo Sky Tree. Amazing! At the Welcome Party in Tsuchiura that night we were honored to meet Mayor Nakagawa, the City Officials, the City Hall Staff, and the host families. The speeches, the delicious food, and every smiling face made us feel very welcome.

We saw as much of Japan as possible. Every trip taught us more about Japanese culture, history, and national pride. Every day in Tsuchiura was special. Our visits to the Middle Schools and High School were educational and fun. It is easy to see why the principals, teachers, and students are proud of their schools. Each school, classroom, and club was impressive! I think our Palo Alto students looked smarter in school uniforms! We watched experts make soba noodles and ate the noodles that we made. A Zen Master led us through a Zen meditation session and then we enjoyed a traditional tea ceremony. The local scenery is beautiful and the city of Tsuchiura is modern. We all had a great time. We are grateful to everyone for preparing for our visit, welcoming us into your homes, taking us everywhere, and showing us that Japan and Tsuchiura are truly amazing. We look forward to seeing you again in Palo Alto and in Tsuchiura.

Thank you for being our Sister City!

<和訳>

日本・土浦への初めての旅

今回の訪問は素晴らしいものでした！到着した翌日、土浦市のスタッフが私たちを東京で出迎え、江戸東京博物館、浅草寺、東京スカイツリーなどへ連れて行ってくださいました。素晴らしかったです！その夜の土浦での歓迎パーティーでは、中川市長はじめ、市関係者、市職員、ホストファミリーのみなさんにお会いすることができて、光栄でした。スピーチと美味しい食事と皆の笑顔で、とても歓迎されていると感じました。

私たちは可能な限り多くの日本を見てきました。どの旅も、日本の文化と国の誇りについて多くを教えてくれるものでした。土浦で過ごした日はどれも特別な日になりました。中学校と高校へ訪問したことは、教育的で、かつ楽しいものでした。校長、先生方、生徒たちが自分の学校を誇りに思っている理由がよくわかりました。どの学校、教室、クラブ活動も印象的でした！パロアルトの生徒たちは、学校の制服を着ると、より賢そうに見えました！私たちは名人による蕎麦打ちを見て、また自分たちで打った蕎麦をいただきました。禅の師匠は私たちに座禅を体験させてくれて、その後で伝統的な茶道を楽しみました。現地の風景は美しく、土浦の街はモダンです。私たちは皆素晴らしい時間を過ごしました。この訪問のために準備をし、私たちを家庭で歓迎してくれ、様々なところに連れて行ってくださり、そして日本と土浦が本当に素晴らしいと教えてくれたすべての方に感謝しています。パロアルトと土浦でまた皆さんにお会いできることを楽しみにしております。

私たちの姉妹都市でいてくださり、ありがとうございます！

土浦市保護者より パロアルトからの受入れを通じて感じたこと
菊池 由美子（土浦第三中学校 菊池 桜輝 保護者）



アメリカのパロアルト市から我が家にバディがやってきました！交換交流ということで、3月に息子が渡米した際にお世話になったお家のお子さんがホームステイすることになり、11日間の受入れでした。こちらに来ると決まった時から、息子はもちろん、私たち家族はとても楽しみにしていました。息子がパロアルトを訪問した時は、とても楽しく、またホストファミリーにもよくしてもらったようなので、私たちもバディには出来る限りのおもてなしをしようといろいろと考えていました。

ウェルカムパーティーで会った時のバディは少し緊張しているようでしたが、すぐに打ち解けて「みんなで写真を撮ろう！」と笑顔で言うてくれました。（左上の写真）私たちも普段使わない英語を駆使して何とかコミュニケーションをとりながらの毎日の始まりです。そして文化も生活習慣も違うバディが、私たち家族の1人となりました。例えば、夜は昼に布団を敷いて寝るとか、私たちにとって当たり前のことも、バディにとっては初めての経験だったりします。それを子供たちは英語でバディに説明してあげて、そしてもう次の日には、バディもそれが習慣のようにすっかり馴染んでいました。何気ない日常も、バディが家にいることで、とても楽しい時間になりました。

休日には、息子の友達は何人も集まってくれて一緒にご飯を食べました。英語が得意ではない子もいましたが、何とかコミュニケーションを取ろうとゲームをやったりして、言葉は通じなくても盛り上がっていました。学校に行った時も、自然とみんなが集まってきて、恥ずかしがりながらも積極的にバディに話し掛けてくれて、とても楽しそうにしていたのが印象的でした。言葉の壁を越えての交流は、子供たちには意外と簡単なことなのかも知れません。

11日間はあっという間に過ぎ、お別れの日は何とも言えない切ない気持ちになりました。息子もバディも笑顔で何度も何度も手を振っていました。2人の間には絆が生まれ、全ての経験はきっと人生の財産になるでしょう。この受入れを通じて、私たちはとても貴重な時間を過ごすことができました。それは、言葉だけでは語り切れない経験でした。お互いの家族が同じような気持ちで交換交流できたことは、本当に素晴らしいことだと思います。このような気持ちになれたことを感謝します。これからも、この中学生交換交流事業がずっと続き、沢山の人がこの素晴らしい体験をする機会がありますように。土浦市、パロアルト市の関係者の皆様、そしてアメリカのホストファミリー、本当にありがとうございました。

土浦市保護者より パロアルトからの受入れを通じて感じたこと
下村 幸代（土浦第六中学校 下村 莉央 保護者）

今回この中学生交換交流事業に参加させていただいたことは、私達家族にとってとても素晴らしい経験となりました。土浦市とパロアルト市の関係者の皆様には心からの感謝を申し上げます。娘はインタラクティブフォーラムに出場したことをきっかけに英語が話せる喜びを感じ、海外のお友達と交流がしてみたいとの動機から、この交換交流事業への参加の意思を固めました。その勇氣ある決断に我が子ながら感心し、尊重したいという気持ちになりました。娘を初めての海外へ送り出すことに不安はありましたが、携帯を持たせていたので娘の様子を知ることができ、ホストファミリーが温かく迎えてくださって充実している様子が伝わってきました。11日ぶりに帰ってきた娘から、ホストファミリーとのお別れの際に You're my Japanese daughter. (日本の娘)という言葉をかけてくださったと聞いて、我が子のように娘を慕ってくれたホストファミリーに出会えたことを幸運に感じました。



娘からバディがとても素敵なお子さんだと聞いていたので、6月の受け入れがとても楽しみでした。最初から親しみ易さを感じ、あっという間に家族にも馴染んでくれました。長旅の疲れもあるかと思い、体調を気にかけるようにしました。

ホストデイはバディの好きな秋葉原とお台場で過ごすことにしました。暑い日だったので老舗のかき氷屋さんで涼むことにすると、アメリカにはない風情ある佇まいに大変喜んでくれました。翌日はバディが去年もこの交換交流事業に参加していたことから、去年のホストファミリーを我が家に招いてサプライズでパーティーを企画しました。皆で賑やかな時間を過ごせたことは本当に貴重な経験です。

全体を通して、仕事をしながら満足のいく受け入れができるのだろうかと不安もありましたが、完璧を求めず、家族の手も借りながら出来たことは良かったと思います。

食事、回転寿司、手巻き寿司、うどん、天ぷらなど和食を中心に楽しんでもらえたかと思います。出発の朝は何を作ろうかバディに相談すると、おにぎりとお味噌汁をリクエストしてくれたのが嬉しく、心をこめて最後の食事を作りました。

バディがいることで家族が明るくなり、だからこそ帰ってしまった後は心に穴が空いてしまったような寂しさがありましたが、海を越えて出会えたこのご縁を大切に、いつかバディのいるアメリカにも遊びに行きたいです。本当にありがとうございました。

活動紹介写真

☆パロアルト市派遣(平成30年3月17日～27日)

◇結団式・歓迎パーティー◇



▲ 結団式で士気も高まる

▼ 扉の向こうには熱い歓迎が待っている



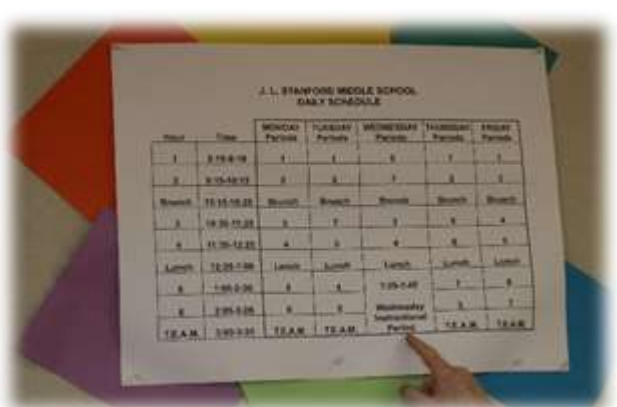
▲ みんなでハイチーズ！



▲ これからお世話になります



▲ さっそく情報交換



▲ 今週の予定を確認

◇学校訪問◇

▼ 学校からの取材に少し緊張



▼ J L S 中のみんなで記念撮影



▼ 逃げ恥ダンスを披露してくれました！！



▼ 楽しいおやつタイム！



▼ ジョーダン中のみんなと



▼ ヤッタネ！！



◇パロアルト市議会訪問◇



▲ 議会終了後に全員で記念撮影



▲ 市庁舎前の記念碑には姉妹都市
土浦市の説明がありました

◇さまざまな風景◇

▼ パロアルト市庁舎



▲ ヨセミテ悪天候のため、急遽入った
ピザハウスで賑やかな夕食



▲ 坂道でケーブルカー到着を待ちます



▲ バスで通過するのみとなった
ヨセミテ

◇スタンフォード大学見学◇



▲ ビジターセンターで案内パンフレットをもらいます



▲ フーバータワー
スタンフォードのランドマーク！



▲ 見どころいっぱい、どこから見学する？



▲ 大学構内にロダンの彫刻（本物！）



▲ 奥に見えるのはモザイクが美しい
メモリアルチャーチ



▲ 360度のパノラマが楽しめる
フーバータワー展望台にて

◇モンレー・カーメル◇

▼ フィッシャーマンズワーフ全景



▲ 鯨の見学ツアーもあります



▲ 涼しい日陰で美味しいランチ



▲ ここのクラムチャウダーは絶品！



▲ ここカーメルはスタインベック
ゆかりの地でもあります



▲ 雰囲気も景色もサイコー！

◇ビンゴナイト◇



▲ 真剣な表情でビンゴに挑む！



▲ 卓球、テニス、プール、水泳等
設備も充実！

◇答礼パーティー◇



▲ みんなで記念樹を植えました

▼ カンパイ！パーティーの始まりです



▲ よく飛ぶ折り方はこうだよ！



▲ 誰が一番飛ばせるかな

◇サンフランシスコ市内見学◇



▲ 坂の街サンフランシスコ



▲ この街の名物ケーブルカー



▲ ショッピングモール「ピア39」は
もとは桟橋だった人気スポット



▲ アル・カポネが収容されていた
アルカトラズ島



▲ みんなでダウンタウンに
繰り出そう！

▼ 有名なゴールデンゲートブリッジを背に
記念撮影



☆パロアルト市生徒受入れ(平成30年6月7日～17日)

◇歓迎パーティー◇



◀ 3か月ぶりの再会！

▼ 日米の生徒代表から挨拶



▼ 歓迎の乾杯！日本滞在を楽しんで！



◇学校訪問◇



▲ お揃いの制服で登校



▲ 日本の授業を体験



▲ バディに説明してあげよう



▲ 部活動を見せてあげるよ



▲ 生徒会のみなさんが歓迎してくれました

◇パロアルト市引率者 部活動見学(土浦第二高等学校) ◇



▲〔書道部〕好きな文字を選んで書道にトライしました



▲〔箏曲部〕優雅な響きにうっとり



▲案内をしてくれた国際交流部の皆さん

◇パロアルト市生徒 関西方面研修◇



▲ 京都、広島、姫路を訪れました
旅館に泊まり浴衣を着て和を満喫

◇そば打ち体験◇



▲ まずは名人のお手本を見て…



▲ そば粉をみんなでこねていきます



▲ 簡単そうに見えて難しい！





▲ 薄く延ばしたら、同じ太さに切っていきます



▲ 出来上がり！



▲ 出来立てのお蕎麦の味は格別

◇座禅&茶道体験◇



▼ 向上庵にて座禅と茶道の体験

ご住職の三井先生曰く、警策（集中できていないときに背中を打っていただくものは「ご褒美」なのだそうです。

心身が清々しくなったところで、美味しいお抹茶とお菓子をいただきました。



◇答礼パーティー◇



▲ 日本語でお礼の言葉



▲ みんな上手！似顔絵コンテスト



▲ おはしゲーム



▲ 名残惜しい別れ



▲ ありがとう、元気でね！



▲ また必ず会えることを祈って！

**平成３０年度 土浦市中学生交換交流事業
(パロアルト市)実施報告書**

編 集／平成３０年度 土浦市中学生交換交流事業派遣生・保護者及び引率者
発 行／土浦市国際交流協会

土浦市大和町９番１号 土浦市市民生活部市民活動課内

TEL ０２９－８２６－９０５１